

構造標準仕様書－１

1. 建築物の構造概要

用途

☐戸建住宅

☐共同住宅

☒（その他）

工事種別

☒新築

☐増築

規模

地下 0 階

地上 2 階

構造種別

☒木造軸組工法

防火指定

☐防火地域

☐準防火地域

☒法22条指定地域

☐指定なし

積雪条件

☒一般区域

☐多雪区域

垂直積雪量 [30] cm

積雪荷重

☒20N/cm/㎡

☐30N/cm/㎡

基準風速

[34] m/s

地表面粗度区分

☐Ⅰ

☐Ⅱ

☒Ⅲ

☐Ⅳ

性能評価

☐有

☒無

耐震（倒壊）等級

☐1

☐2

☐3

耐震（損傷）等級

☐1

☐2

☐3

耐風等級

☐1

☐2

耐積雪等級

☐1

☐2

用途係数

☒1.0

☐1.25

☐1.5

2. 使用構造材料

（１）コンクリート

JIS A 5308のレディーミクストコンクリートとする

設計基準強度

☐18

☒21

☐24

☐27

調査管理強度は設計基準強度 (F_c) に

構造体強度補正值 (S) を加えた値とする

※構造体強度補正值 (S) は公共建築工事標準仕様書（平成31年版）による

セメント

普通ポルトランドセメント

スランブ

18cm以下

（２）鉄筋

JIS G 3112とする

☒SD295

☒SD345（D19以上）

（３）木材

部位	寸法	材種	等級
土台	105 x 105	ベイツツKD（注入材）	無等級
管柱	105 x 105	ホワイトウッド集成材（同一等級）	E95-F315
通柱	120 x 120	レッドウッド集成材（同一等級）	E95-F315
梁	105x	レッドウッド集成材（対称異等級）	E105-F300
筋かい	45 x 90	ホワイトウッドKD	無等級
母屋	105x	杉KD	無等級
小屋束	105 x 105	杉KD	無等級

（４）その他

3. 地盤

地盤調査方法

☐目視及び周辺の資料調査

☐表面波探査

☐標準貫入試験

☐平板載荷試験

☒スクリーウエイト貫入試験

地盤種別

☐1 種

☒2 種

☐3 種

4. 地業工事

☐地業（碎石・割栗石）

☒表層改良

改良層厚 1.25M

☐柱状改良

☐直接基礎

☐布基礎

☒べた基礎

☐杭基礎

設計地耐力 [20] kN/㎡以上

（地盤調査報告書より）

柱状図

測点NO. 4

5. 鉄筋コンクリート工事

（１）コンクリート工事

・コンクリートの練り混ぜから打ち込み終了までの時間の限度は、外気温が25℃未満で120分、25℃以上で90分とする

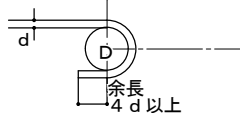

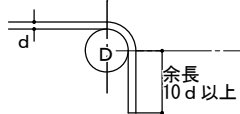
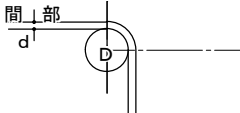
・ポンプ打ちコンクリートは、できるだけ打ち込み位置に近づけ、垂直に打つこと

・空隙が生じないよう十分な突き、たたきを行うこと

（２）配筋工事

a. 鉄筋末端部及び中間部の折曲げ形状・寸法

鉄筋の種類：SD295, D16以下

	図 余長	鉄筋の折曲げ内法直径（D）
末端部		3 d 以上
末端部		
末端部		
中間部		3 d 以上

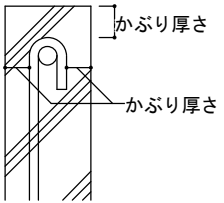
b. 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（N/mm ² ）	定着長さ	重ね継手の長さ
SD295A	18	40d又は 30dフックつき	45d又は 35dフックつき
	21、24	35d又は 25dフックつき	40d又は 30dフックつき

※地中梁の引張鉄筋の定着は40 d とする。

c. かぶり厚さ

部位		設計かぶり厚さ（mm）
土に接する部分	基礎立上り	50
	基礎底版	70



d. 鉄筋のあき・間隔の最小寸法

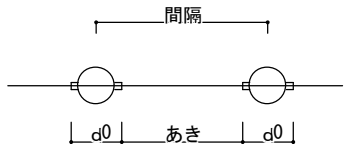
あき

・呼び名の数値の1.5倍

・粗骨材最大寸法の1.25倍

・25mm

のうち大きいほうの数値

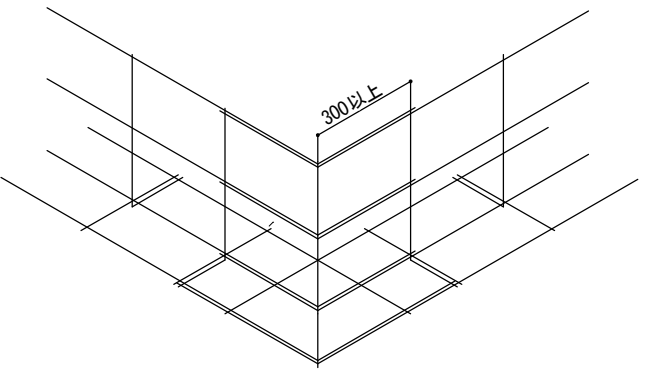


間隔

・呼び名の数値の1.5倍+最外径（d \$0）

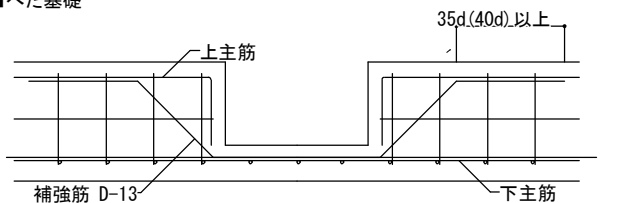
e. 基礎隅角部の配筋補強

隅角部では各横筋を折り曲げた上、直行する他方向の横筋に300mm以上重ね合わせる

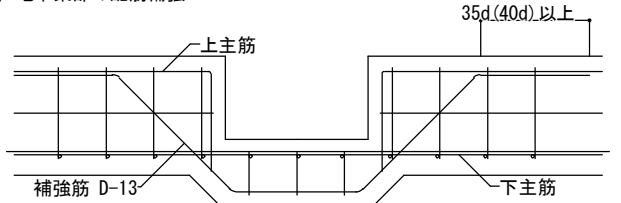


f. 人通口部の配筋補強

☒べた基礎



g. 地中梁部の配筋補強



（３）型枠工事

型枠の存置期間

平均気温	日数
5℃以上15℃未満	5
15℃以上	3

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 標準仕様書 1	図面番号	H01/H07
縮 尺	－	作成年月	令和7年12月
設計者 一級建築士氏名印	Ai 設 計 室 有限会社 大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

出力 26 / 116

木造軸組接合部標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。
- (2) 設計図書
設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。
- (3) 準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）
「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準 平成29年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）
- 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
 2. 設計図
 3. 特記仕様書
 4. 本標準図

- (5) 疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

- (7) 施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

- (8) 製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける

- (9) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

- (10) 接合法
本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。
- ・継手仕口による在来工法
 - ・一部 梁受け金物、による金物工法

なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。
また、本標準図は在来接合法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。
本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。

- (11) 加工部材に関する留意事項
本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。

- ・梁:部材断面が幅90mm~150mm、梁成が幅と同寸~450mm、及び材長6m以下
- ・柱:90角~150角の正方形断面、長さ6m以下

これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

2. 材料

- (1) 木材及び木質材料
主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。
- (2) 接合具
- a) くぎ
主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または
太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）または
ステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。

- b) 木質構造用ビス
主要構造部を使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選択することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。
使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

- c) ボルト・ナット・座金
- 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。
- ・ボルトはJIS B 1051 , ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼
 - ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット
 - 【 Zマーク表示金物 】
 - 【 Dマーク表示金物 】
 - 【 Sマーク表示金物 】
 - ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット

- 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。

※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。

- d) ドリフトピン・ラグスクリュー
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを
選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様
書で指定する。

- e) 木栓・木ダボ
主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。
樹種・径等については、特記仕様書で指定する。
節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。

- (3) 接合金物
- a) 規格金物
- 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。
- ・ JIS A 5531；木構造用金物
 - ・ 公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物；
Zマーク表示金物、又は Cマーク表示金物
 - ・ 同等認定金物；Dマーク表示金物
 - ・ 性能認定金物；Sマーク表示金物

上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。

使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。

- b) 製作金物
製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、
特記仕様書及び設計図による。

- (4) 接着剤
原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。
建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。

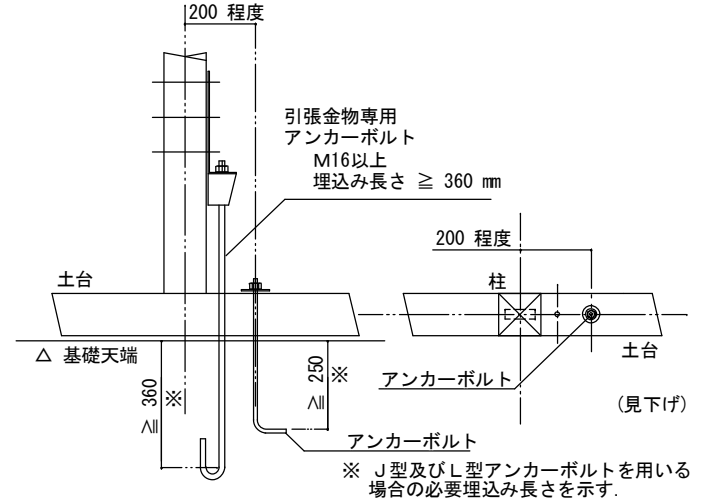
- (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理
防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。
土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行
適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

3. アンカーボルト

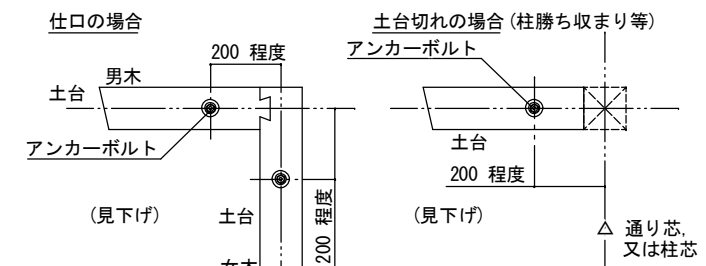
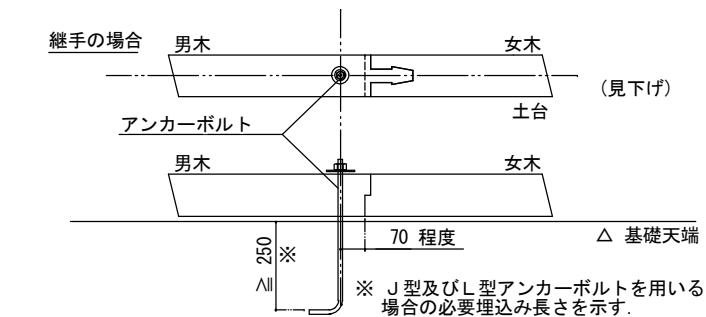
- ※共通事項
・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。

- (1) 土台固定用アンカーボルト
a). アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。

- 1. 耐力壁(筋交い、合板仕様共通)の下部；
耐力壁(筋交い、合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。



- 2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口；
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。
当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。



- 3. その他； 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。

- ## (2) 引張金物専用アンカーボルト

- a). 引張金物専用アンカーボルトの径
引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。

- b). 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ
引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。

- (1) 釘接合
- ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
 - ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。
 - ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
 - ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
 - ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

- (2) 木質構造用ビス接合
- ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
 - ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；
比重が 0.5 以上の樹種・・・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの 2/3 程度とする。

- ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
- ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。
- ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。
- ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、締め止め等の適切な処置を行う。

- (4) ラグスクリーu接合
- ・座金の厚さときさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
 - ・締付けに先立ち、ラグスクリーuの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
 - ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。：
比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。
 - ・ラグスクリーuの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
 - ・一度ねじ込んだラグスクリーuは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
 - ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリーuは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。

- (5) ドリフトピン接合
- ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
 - ・ドリフトピンは、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
 - ・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。

- (6) 木栓接合
- ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
 - ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
 - ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。
 - ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。

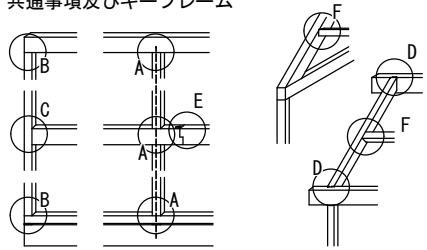
- (7) グルードインロッド接合
- ・ グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合を用いて、
 - ・ グルードインロッド接合は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
 - ・ 施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合				
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事			
種 別	岐南4区画 木造軸組接合部標準図 1	図面番号	H03 / H07	
縮 尺	—	作成年月	令和7年12月	
設計者 一級建築士氏名印	Ai 設 計 室 有 限 公 司			
構造設計 一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印 後藤木材(株) 一級建築士事務所 大臣登録244764号 永縄 栄尚 印			

木造軸組接合部標準図（2）

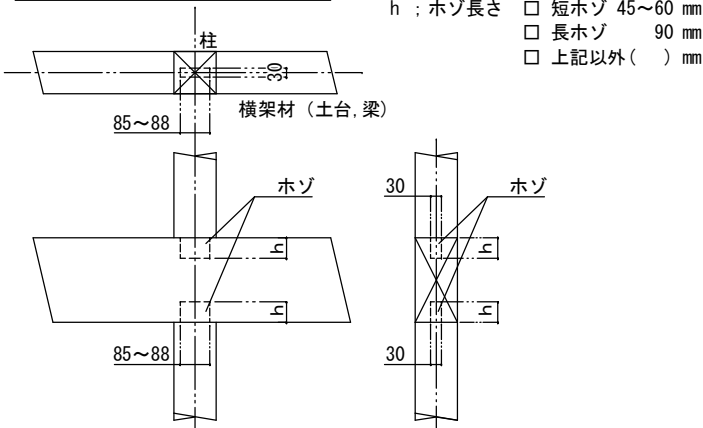
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

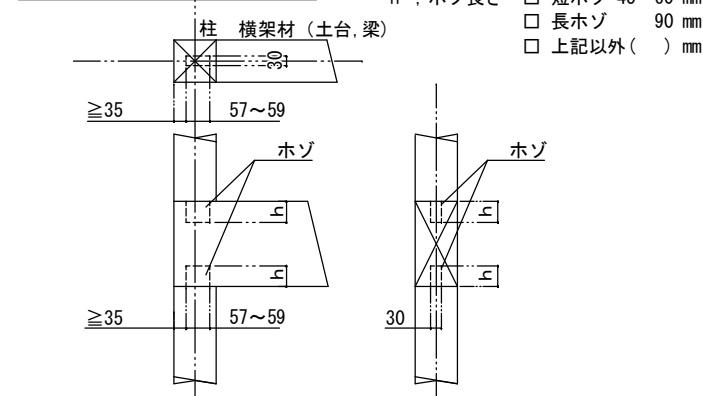


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

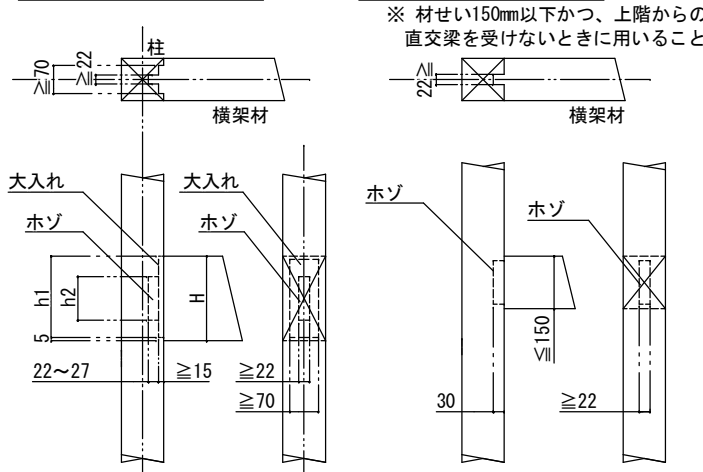
A 柱-横架材仕口：一般部（土台共通）



B 柱-横架材仕口：出隅部（土台共通）

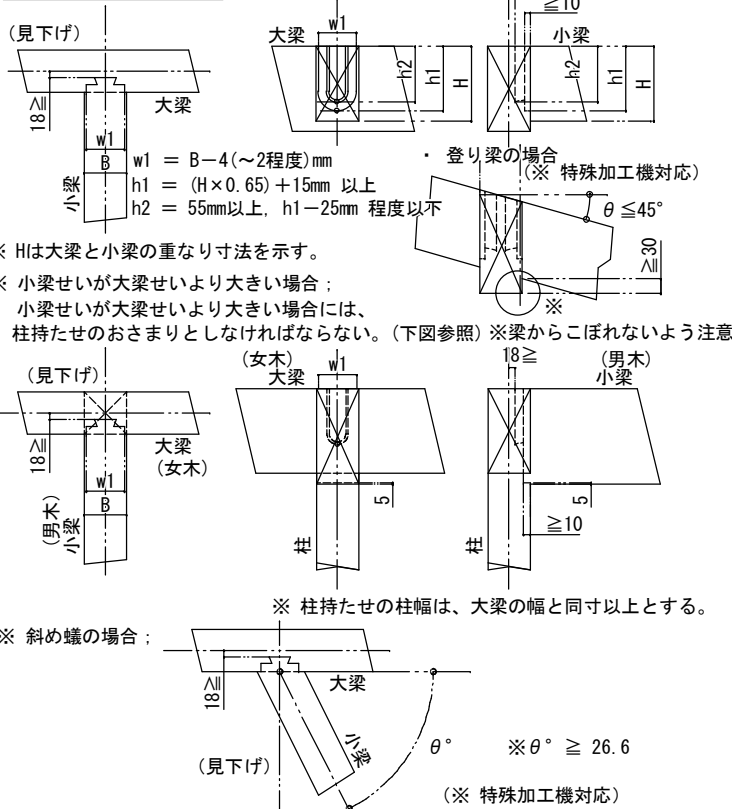


C 通柱-横架材仕口：胴差し

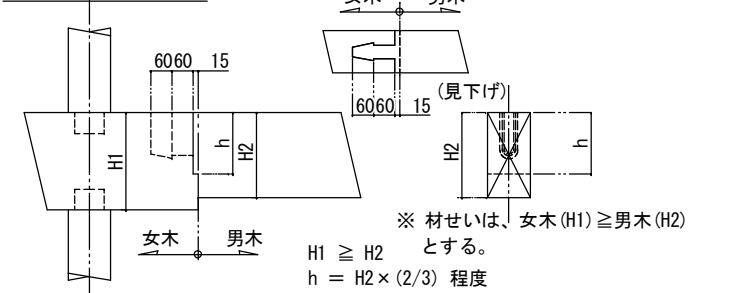


h1 = H-5 mm 程度
※ 胴差しで通し柱に取り付く方向は、2方向までとする。

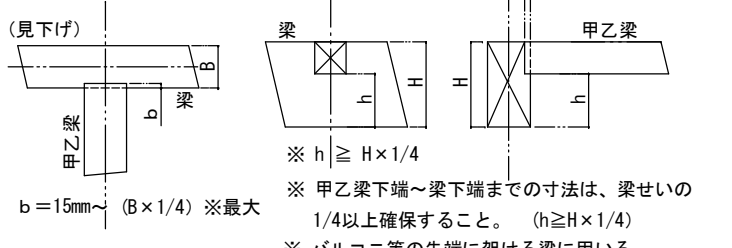
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



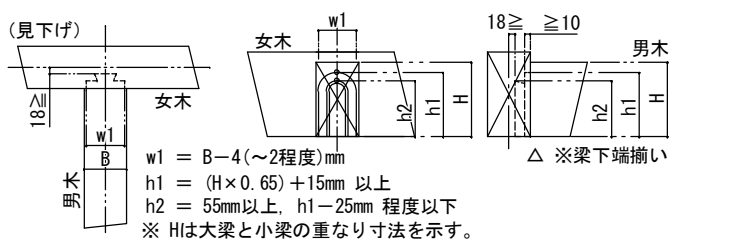
E 梁-梁継手：腰掛継ぎ



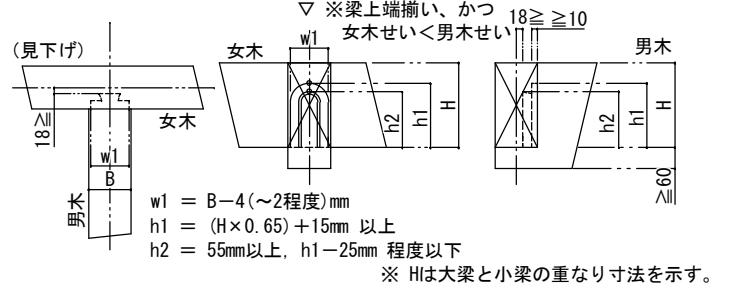
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



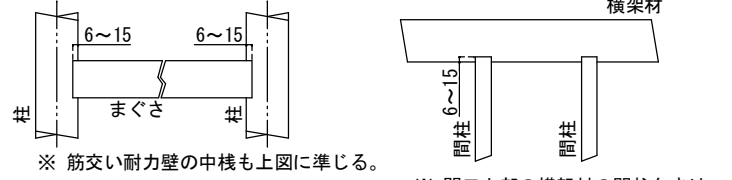
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



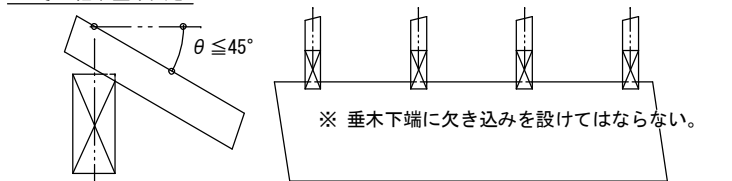
H 梁-梁仕口：茶臼仕口 ※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。



I その他：まぐさ欠き



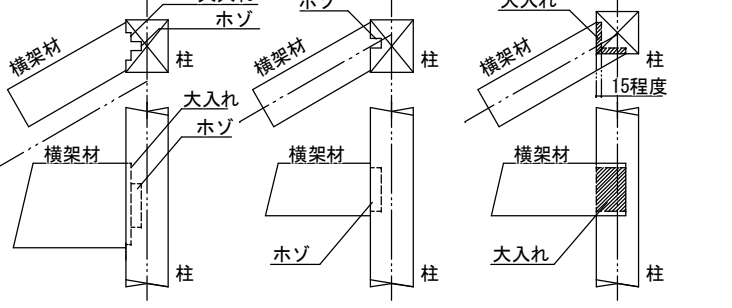
K その他：垂木欠き



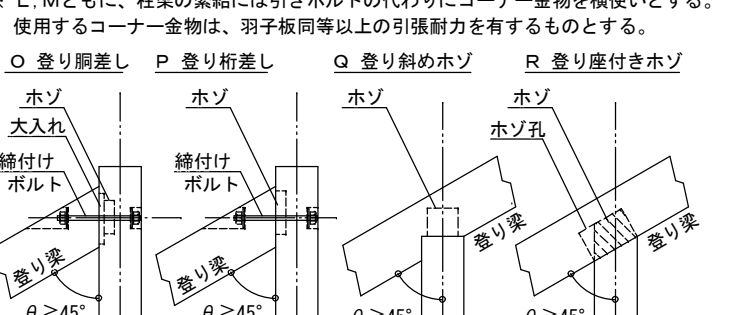
(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

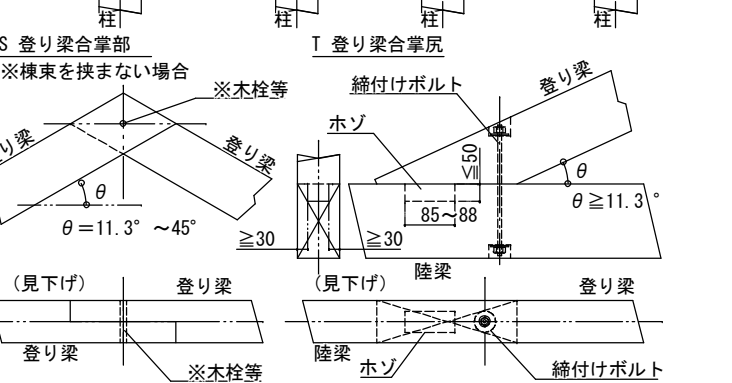
L 斜め胴差し



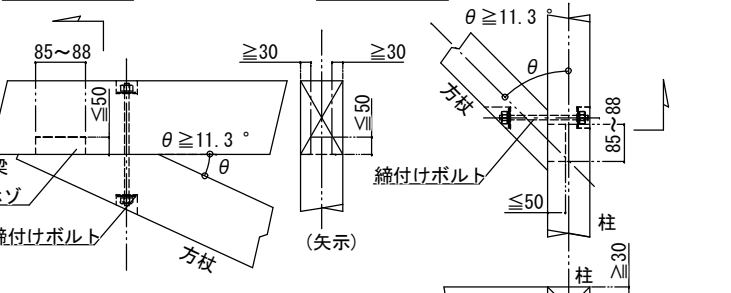
M 斜め桁差し



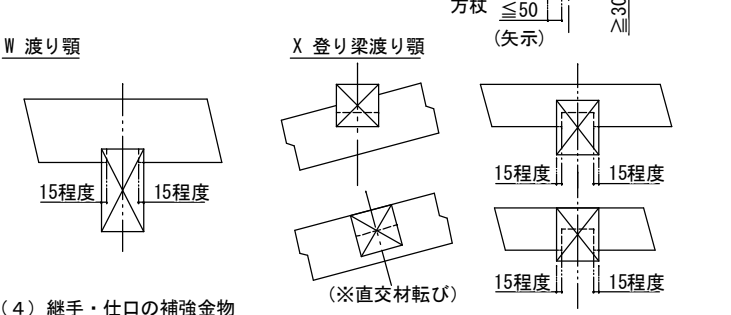
S 登り梁合掌部



U 方杖-梁仕口

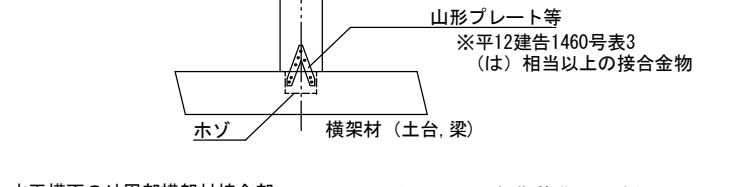


W 渡り頭



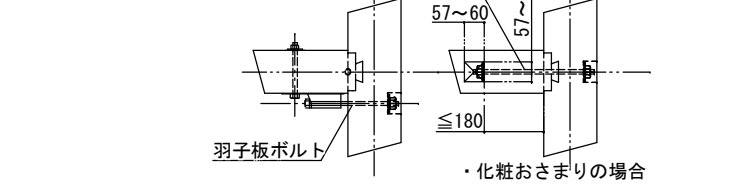
(4) 継手・仕口の補強金物

・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を有する接合金物（平12建告1460号表3に対応する表符号の”は”相当以上）を使用すること。



・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を有する接合金物を使用すること。

・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を有する接合金物を使用すること。（右図参照）



(梁-梁 接合部)

・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を有する接合金物を使用すること。（右図参照）

(小梁端部接合部)

・小梁端部接合部においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を有する接合金物で緊結すること。

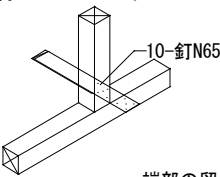
岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 木造軸組接合部標準図2	図面番号	H04/H07
縮 尺	—	作成年月	令和7年12月
設計者 一級建築士氏名印	Ai 設 計 室 有限会社 大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

木造軸組接合部標準図（3）

（1）鉛直構面（耐力壁等）

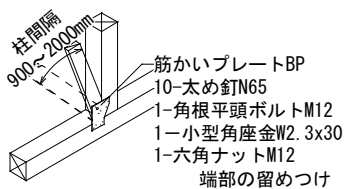
a. 筋かい

□ 木材 15 × 90mm 以上



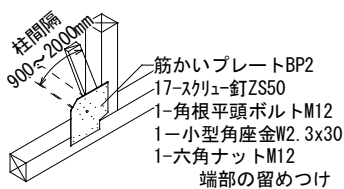
端部の留めつけ

□ 木材 30 × 90mm 以上



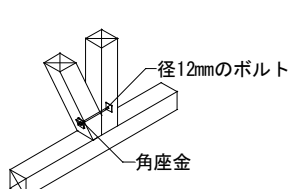
端部の留めつけ

■ 木材 45 × 90mm 以上

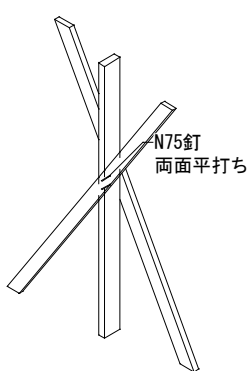


端部の留めつけ

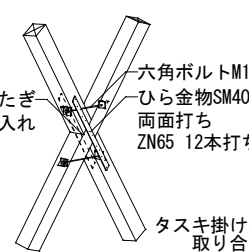
□ 木材 90 × 90mm 以上



端部の留めつけ



タスキ掛けの取り合い



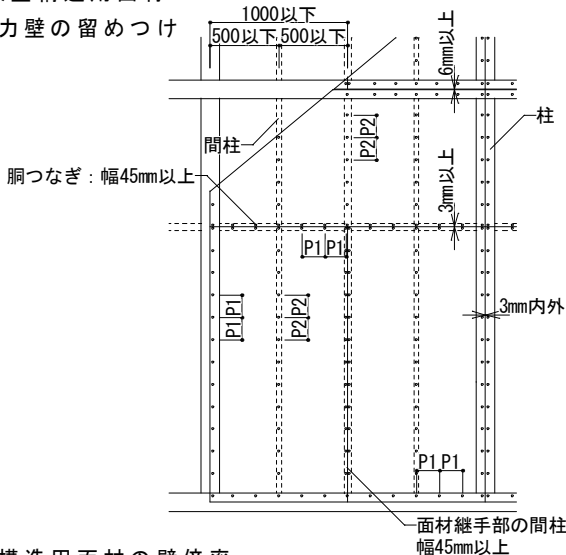
タスキ掛けの取り合い

筋かいの壁倍率

筋かいの種類	片筋かい			両筋かい
	基準	圧縮	引張	
□鉄筋φ9mm以上	—	0	2.0	(2.0)
□木材15×90mm以上	1.0	1.0	1.0	2.0
□木材30×90mm以上	1.5	2.0	1.0	3.0
■木材45×90mm以上	2.0	2.5	1.5	4.0
□木材90×90mm以上	3.0	5.0	1.0	5.0
□鋼製プレートφ	2.0	0	2.0	

b. 大壁構造用面材

■ 耐力壁の留めつけ

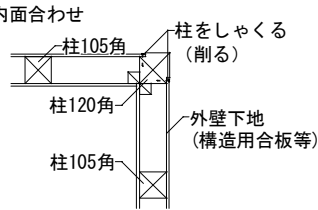


大壁構造用面材の壁倍率

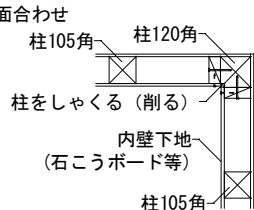
面材の種類	最低厚さ	釘種類	P1	P2	壁倍率
■構造用合板	7.5mm	N50	150mm	150mm	2.5
□構造用合板	9mm	CN50	75mm	150mm	3.7
□ハードボード	5mm	N50	150mm	150mm	2.5
□硬質木片セメント板	12mm	N50	150mm	150mm	2.0
□構造用石こうボードA種	12mm	GNF40, GNC40	150mm	150mm	1.7
□構造用石こうボードB種	12mm	GNF40, GNC40	150mm	150mm	1.2
□石こうボード	12mm	GNF40, GNC40	150mm	150mm	0.9
□ラスシート（角波亜鉛鉄板）（メタルラス）	0.4mm 0.6mm	N38	150mm	150mm	1.0
□シーシングボード	12mm	SN40	100mm	200mm	1.0
□MDF	9mm	N50	100mm	200mm	2.5

柱寸法が異なる場合の面材の取り合い

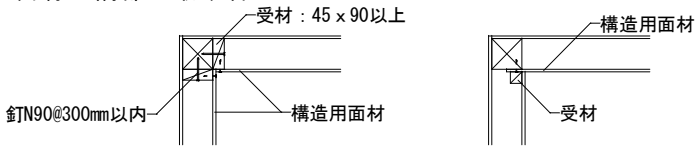
■ 内面合わせ



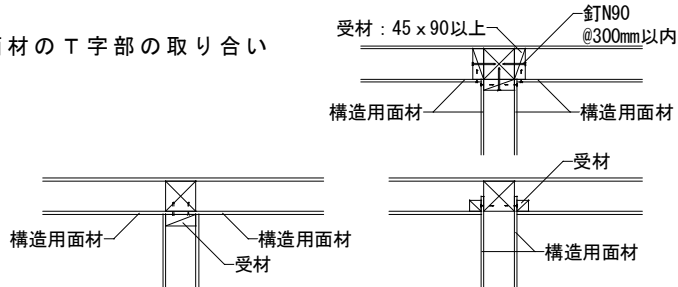
■ 外面合わせ



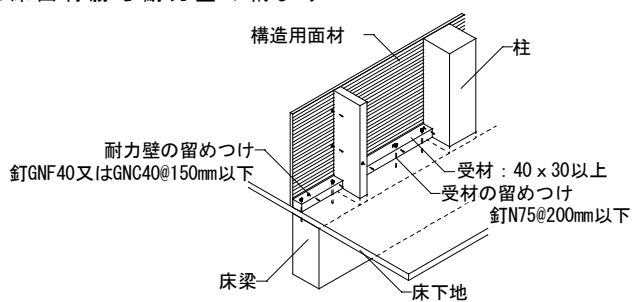
面材の隅部の取り合い



面材のT字部の取り合い



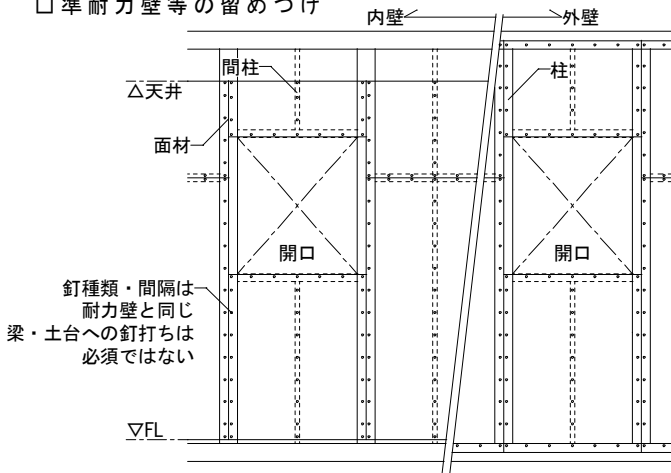
□ 床面材勝ち耐力壁の納まり



床面材勝ち耐力壁の壁倍率（ ）内は真壁納まりの壁倍率

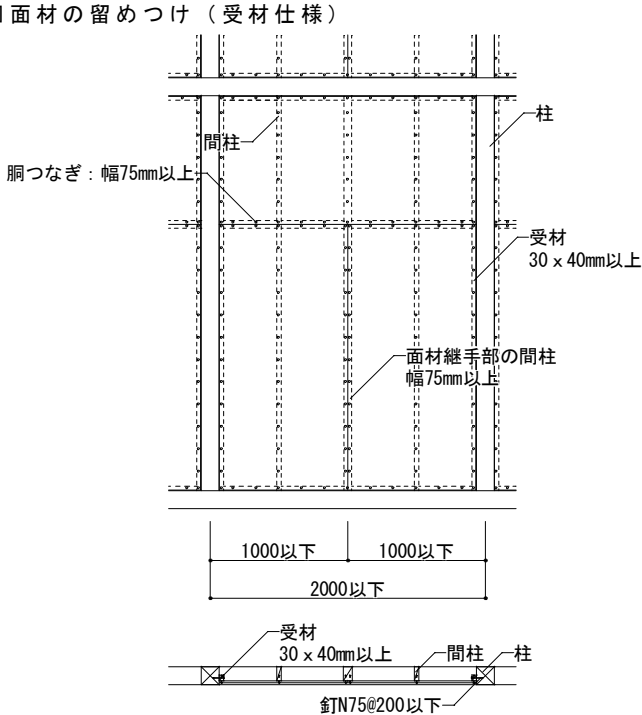
面材の種類	最低厚さ	釘種類	P1	P2	受材	壁倍率
□構造用合板	7.5mm	N50	150mm	150mm	30×40以上 N75@200 (300)	2.5 (2.5)
□構造用合板	9mm	CN50	75mm	150mm	30×60 (40) N75@120 (200)	3.7 (3.3)
□石こうボード	12mm	GNF40 GNC40	150mm	150mm	30×40 N75@300	0.9

□ 準耐力壁等の留めつけ

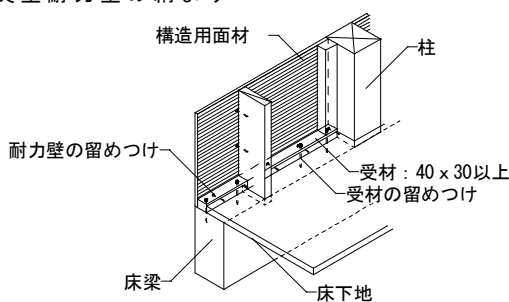


c. 真壁構造用面材

□ 面材の留めつけ（受材仕様）



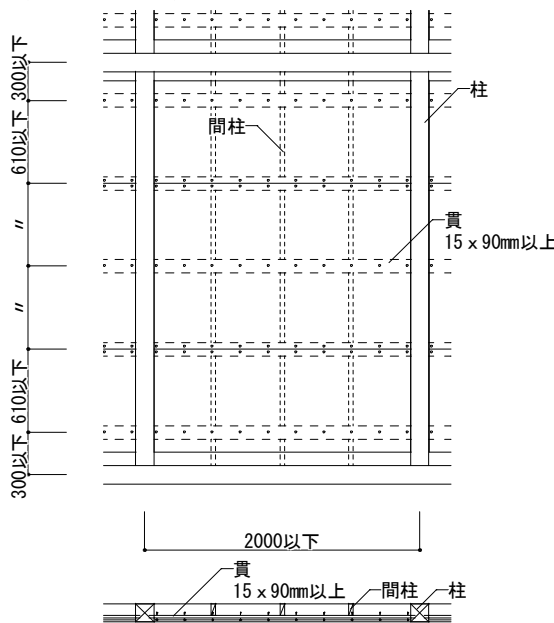
■ 受け材真壁耐力壁の納まり



受材仕様真壁構造用面材の壁倍率

面材の種類	最低厚さ	釘種類	P1	P2	受材	壁倍率
□構造用合板	9mm	CN50	75mm	150mm	30×40以上 N75@200以下	3.3
■構造用合板	7.5mm以上	N50	150mm	150mm	30×40以上 N75@300以下	2.5
□石こうラスボード＋ 石こうプラスター15mm以上塗り	9mm	GN32又は GNC32	150mm	150mm	30×40以上 N75@300以下	1.5
□構造用石こうボードA種	12mm	GNF40又は GNC40	150mm	150mm	30×40以上 N75@300以下	1.5
□構造用石こうボードB種	12mm	GNF40又は GNC40	150mm	150mm	30×40以上 N75@300以下	1.3
□石こうボード	12mm	GNF40又は GNC40	150mm	150mm	30×40以上 N75@300以下	1.0
□構造用MDF	9mm	N50又は CN50	150mm	150mm	30×40以上 N75@300以下	2.5

□ 面材の留めつけ（貫仕様）



貫仕様真壁構造用面材の壁倍率

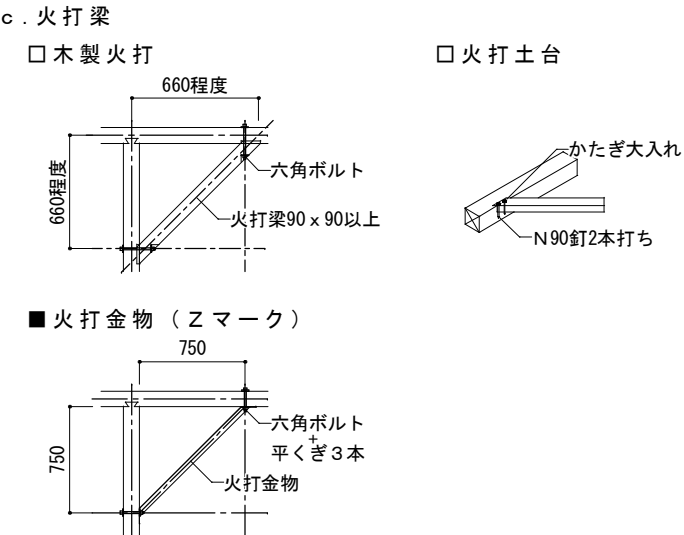
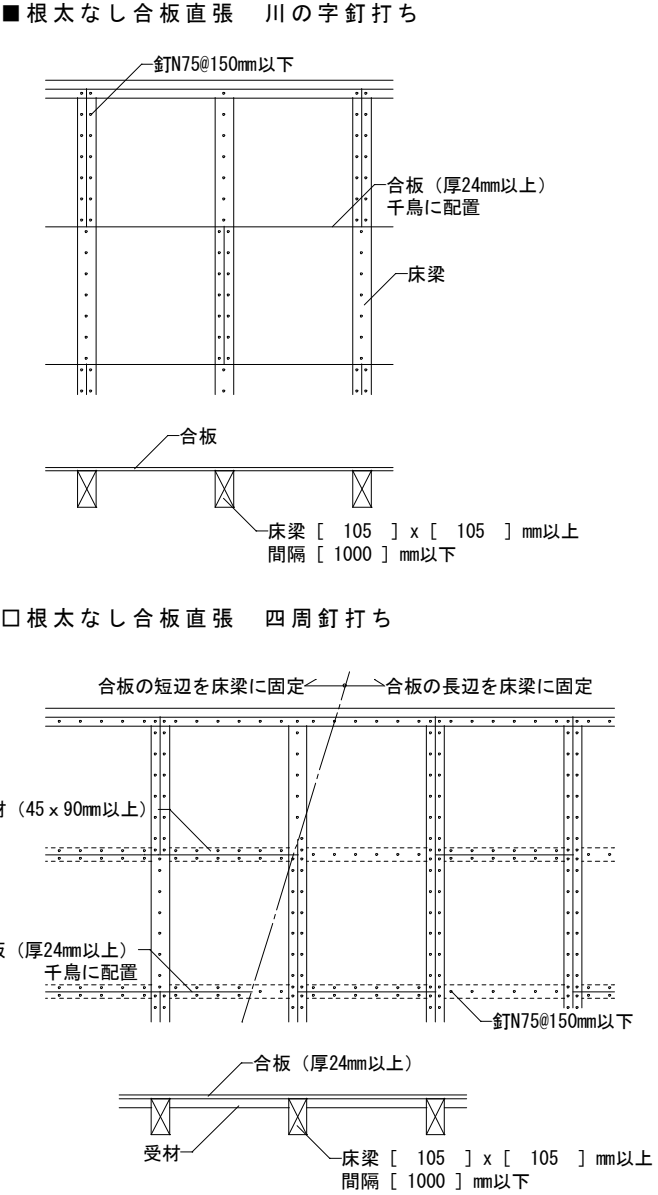
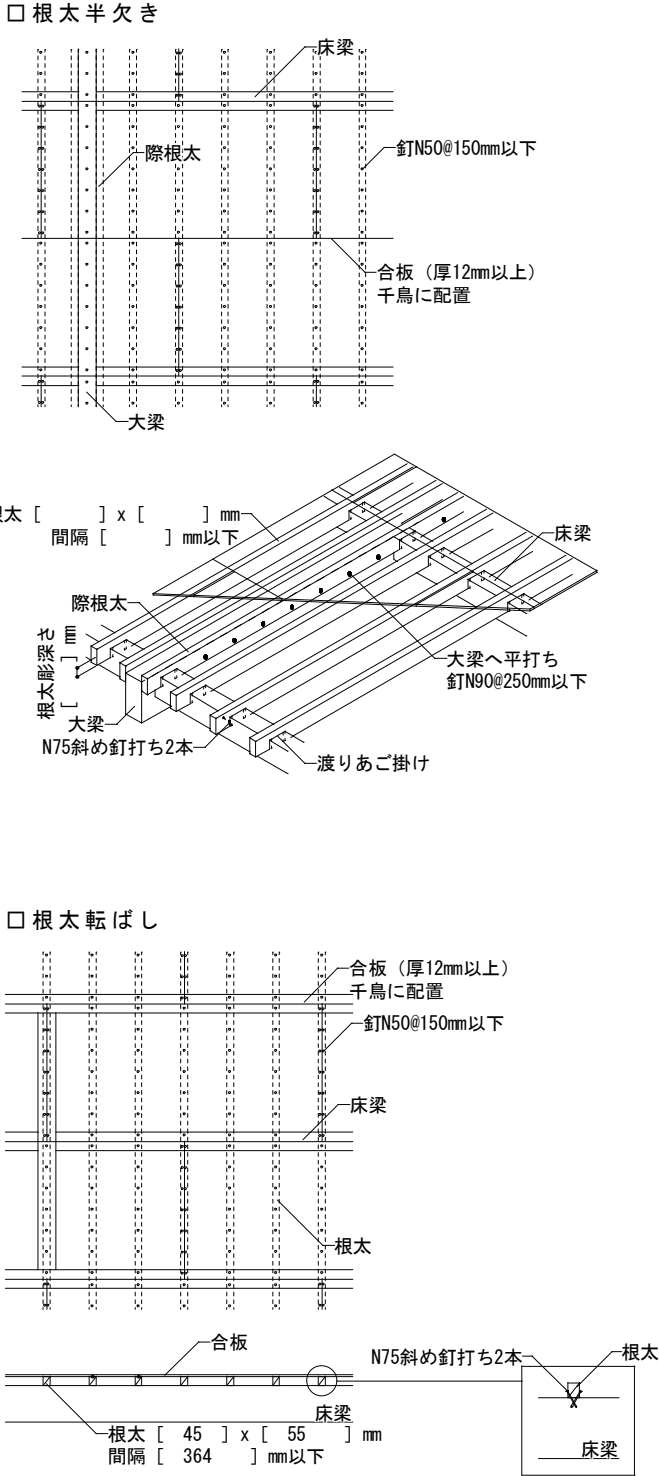
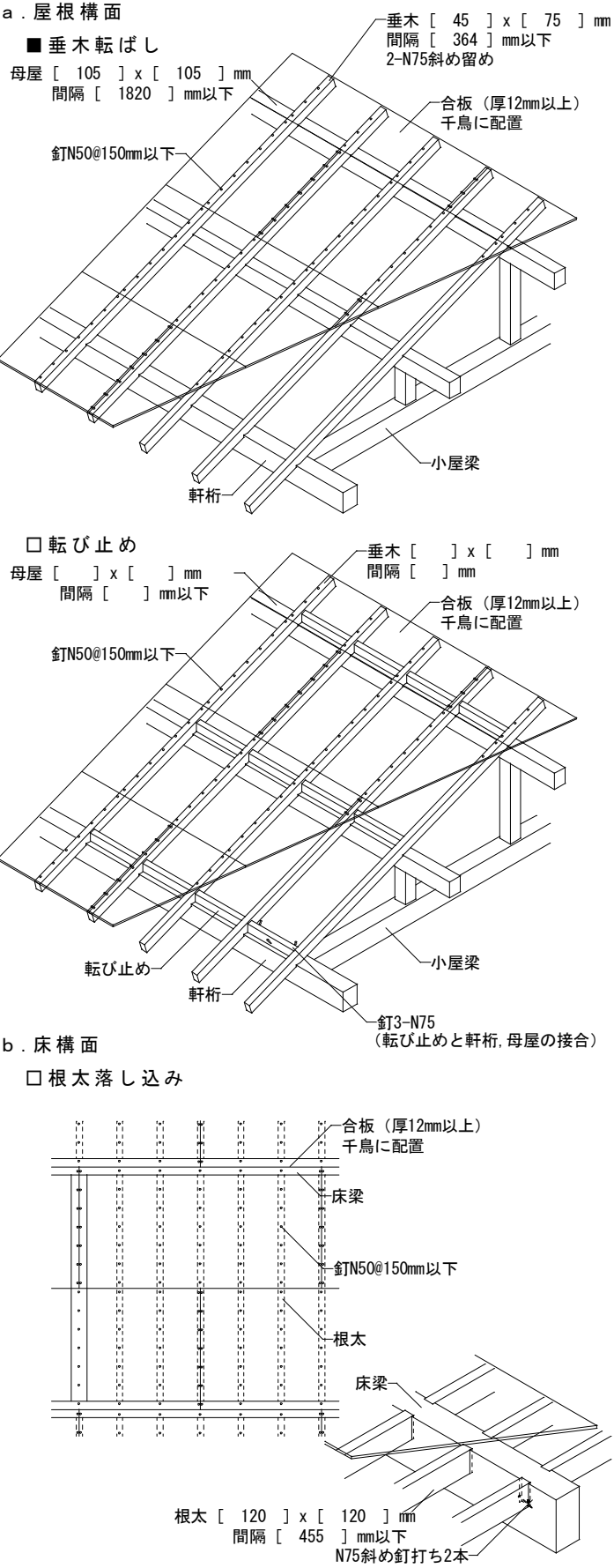
面材の種類	最低厚さ	釘種類	釘間隔	壁倍率
□構造用合板	7.5mm	N50	150mm	1.5
□ハーフティンボード・構造用パネル	12mm	N50	150mm	1.5
□石こうラスボード	9mm	N50	150mm	1.0
□構造用石こうボードA種	12mm	GNF32, GNC32	150mm	0.8
□構造用石こうボードB種	12mm	GNF32, GNC32	150mm	0.7
□石こうボード	12mm	GNF32, GNC32	150mm	0.5

岐阜県地方競馬組合

工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 木造軸組接合部標準図3	図面番号	H05 / H07
縮 尺	—	作成年月	令和7年12月
設計者 一級建築士氏名印	Ai 設 計 室 有限会社 大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

木造軸組接合部標準図（４）

（２）水平構面（屋根・床等）



（３）柱仕口		数値は短期許容引張耐力	
■ 短ほぞ差し （小屋組み部分）	0.0kN	■ かすがい打ち	1.08kN
■ かど金物 CP-L	3.38kN	■ かど金物 CP-T	5.07kN

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 木造軸組接合部標準図4	図面番号	H06 / H07
縮 尺	—	作成年月	令和7年12月
設計者 一級建築士氏名印	Ai 設 計 室 有限会社 大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

木造軸組接合部標準図（５）

数値は短期許容引張耐力

■山型プレートVP5.88kN

刻印線に合わせる

山型プレートVP
12-太め釘ZN65

□羽子板ボルト7.50kN

羽子板ボルト
1-六角ボルトM12
2-六角ナットM12
2-角座金W4.5x40

羽子板パイプ

座彫り

羽子板ボルト
1-六角ボルトM12
2-六角ナットM12
2-角座金W4.5x40

□短冊金物+スクリー釘8.50kN

短冊金物
2-六角ボルトM12
2-六角ナットM12
2-角座金W4.5x40
3-スクリー釘ZS50

□引き寄せ金物S-HD1010.0kN

引き寄せ金物S-HD10
1-六角ナットM16
2-六角ボルトM12
2-六角ナットM12
2-角座金W4.5x40

六角ボルトM16
又は
両ねじボルトM16

アンカーボルトM16

■引き寄せ金物S-HD2525.0kN

引き寄せ金物S-HD25
1-六角ナットM16
5-六角ボルトM12
5-六角ナットM12
5-角座金W4.5x40

六角ボルトM16
又は
両ねじボルトM16

アンカーボルトM16

■引き寄せ金物S-HD15x230.0kN

引き寄せ金物S-HD15x2
2-六角ナットM16
6-六角ボルトM12
6-六角ナットM12
6-角座金W4.5x40

六角ボルトM16
又は
両ねじボルトM16

アンカーボルトM16

□通し柱と胴差の仕口

胴差がL字に差さる柱

胴差が一直線上に差さる柱

胴差がT字に差さる柱

胴差が1本だけ差さる柱

□梁の継手

鎌継手+羽子板ボルト

鎌継手+羽子板ボルトx2

（５）その他の仕口・継手

□土台・大引・母屋等の仕口

大入アリ仕口

大入仕口

□土台・大引・母屋等の継手

アリ継手

鎌継手

□根がらみと床束の取合い

大引

根がらみ

床束

□大引きと床束の仕口

大引

かすがい又は
ひら金物打ち

床束

□根太の継手

大引

突きつけ

■桁行筋かい・振れ止め

棟木

小屋束

桁行筋かい
@3640

振れ止め@3640

■垂木と横架材の仕口

垂木

母屋・軒桁等

※垂木と母屋・棟木の接合金物 ST-12

ST-12

※小屋束両端部 加がイ2本留め

加がイ2本留め

（４）梁仕口・継手

□梁と梁の仕口（一部在来仕口有り）

アリ+羽子板ボルト
大入アリ又は
アリ柱持たせ

アリ+羽子板ボルト

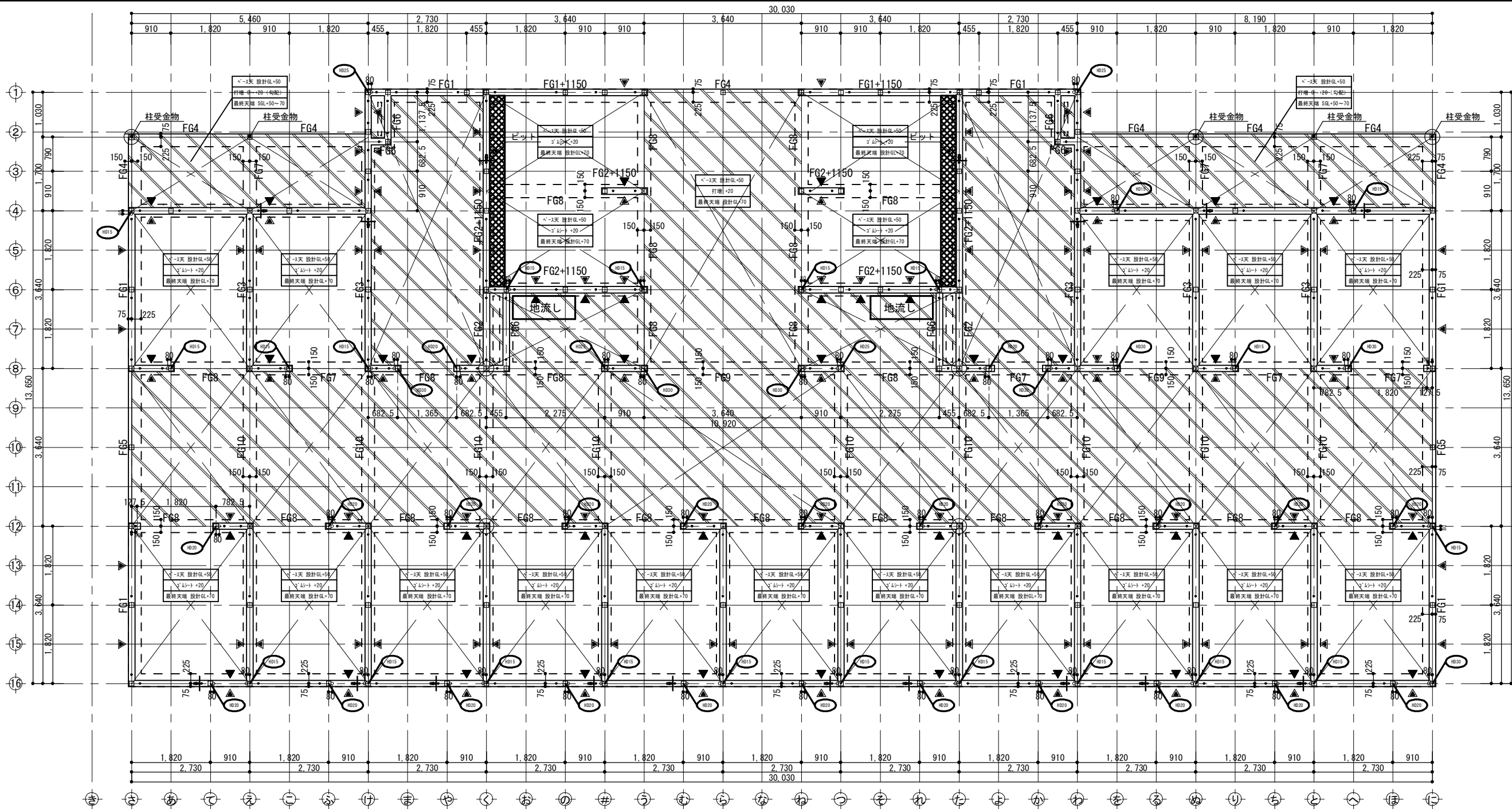
アリ+羽子板ボルトx2
大入アリ又は
アリ柱持たせ

アリ+羽子板ボルトx2

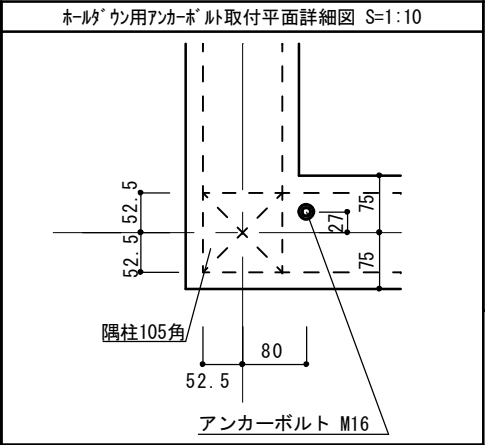
岐阜県地方競馬組合

工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種別	岐南4区画 木造軸組接合部標準図5	図面番号	H07/H07
縮尺	—	作成年月	令和7年12月
設計者 一級建築士氏名印	Ai設計室 有限会社 大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

出方 26 116



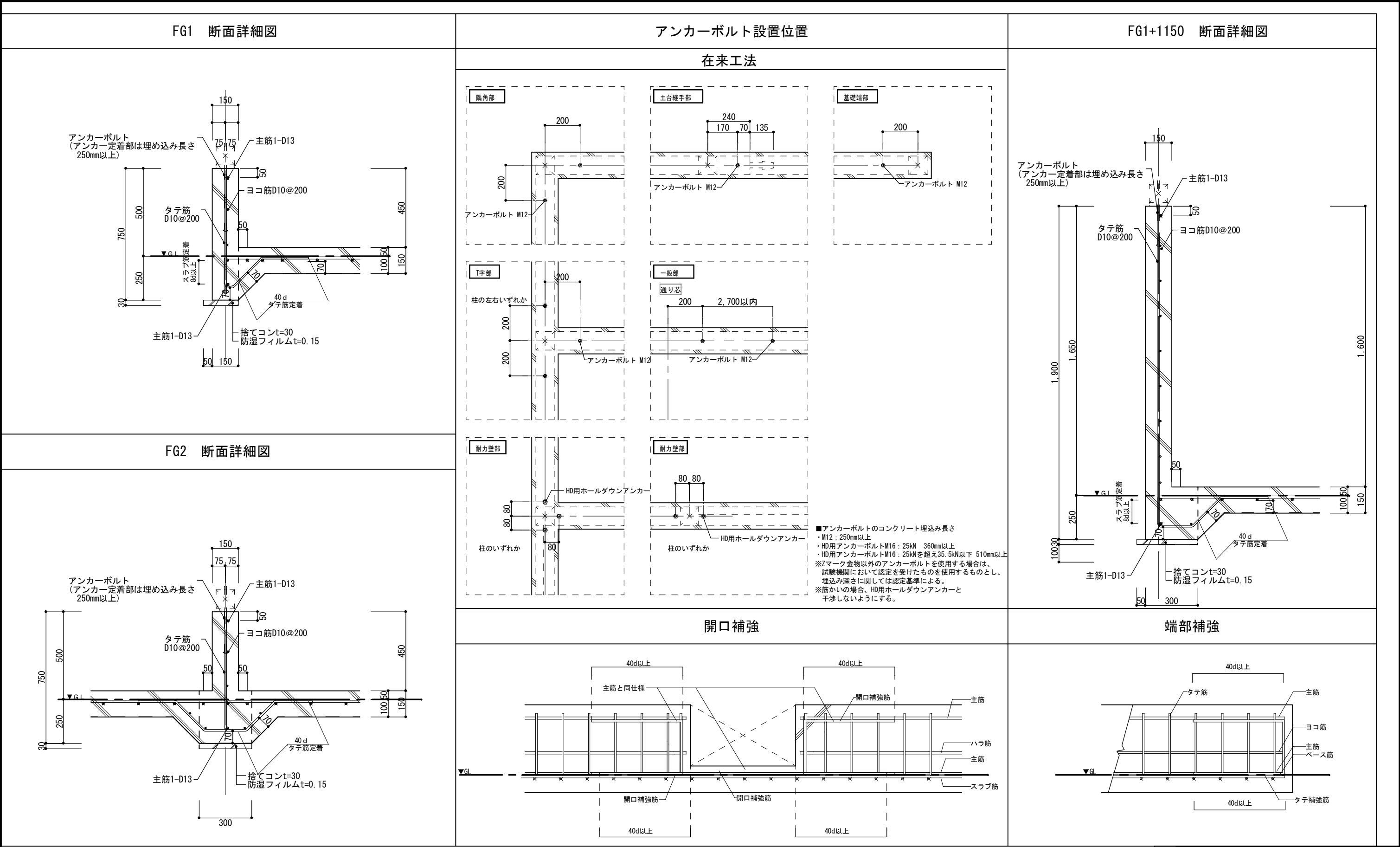
凡例図	
	コンクリート打増
	床下入通口 (W:600・H:350)
	土台継手位置
	アンカーボルト M12 出115
	ホルダ'ン金物用アンカーボルト M16 出550 特記なき取付寸法はホルダ'ン金物用アンカーボルト取付平面詳細図による
	柱脚金物



※特記なきスラブはFS1とし、
スラブ天端は設計GL+50とする。
※特記なき外周基礎はFG1とする。
※特記なき内周基礎はFG2とする。
※設計基準強度 $F_c=21$
強度補正は基礎標準仕様書による。

スラブ配筋	厚 (mm)	短辺方向		長辺方向	
		端部	中央	端部	中央
FS1	150	D13@200シング	ル	D13@200シング	ル
FS2	150	D13@150シング	ル	D13@150シング	ル
FS3	150	D13@100シング	ル	D13@100シング	ル
特記					
設計地耐力 25 kN/m ²					
基礎の寸法 及び 配筋の検証方法		別添：ARCHITRENDZERO木造構造計算 『構造計算書』による。 具体的な寸法・配筋は基礎詳細図参照			

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎3-41(43)	基礎伏図	図面番号 W4-1 / M4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



開口補強

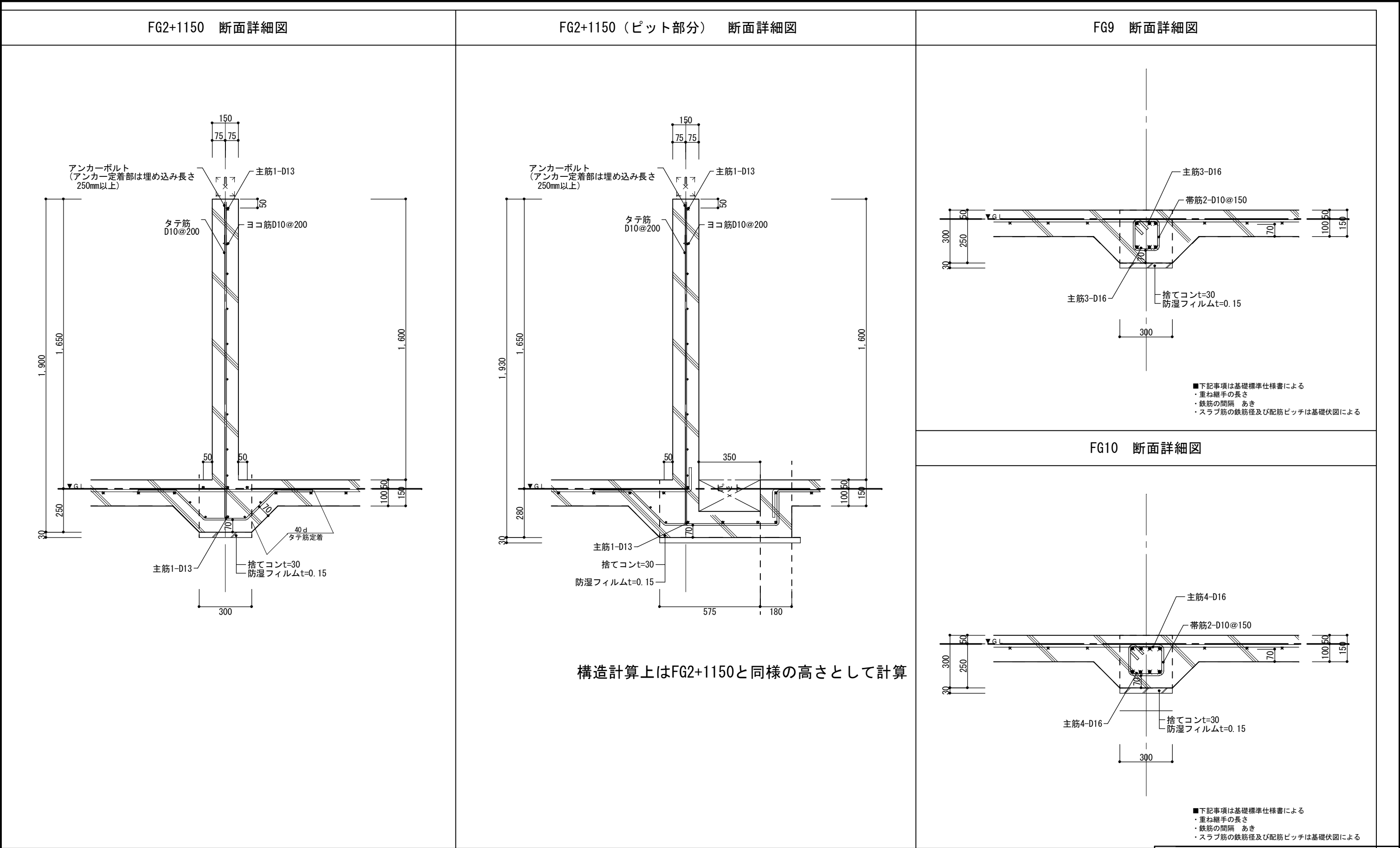
端部補強

■下記事項は基礎標準仕様書による

- ・重ね継手の長さ
- ・鉄筋の間隔 あき 定着
- ・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による

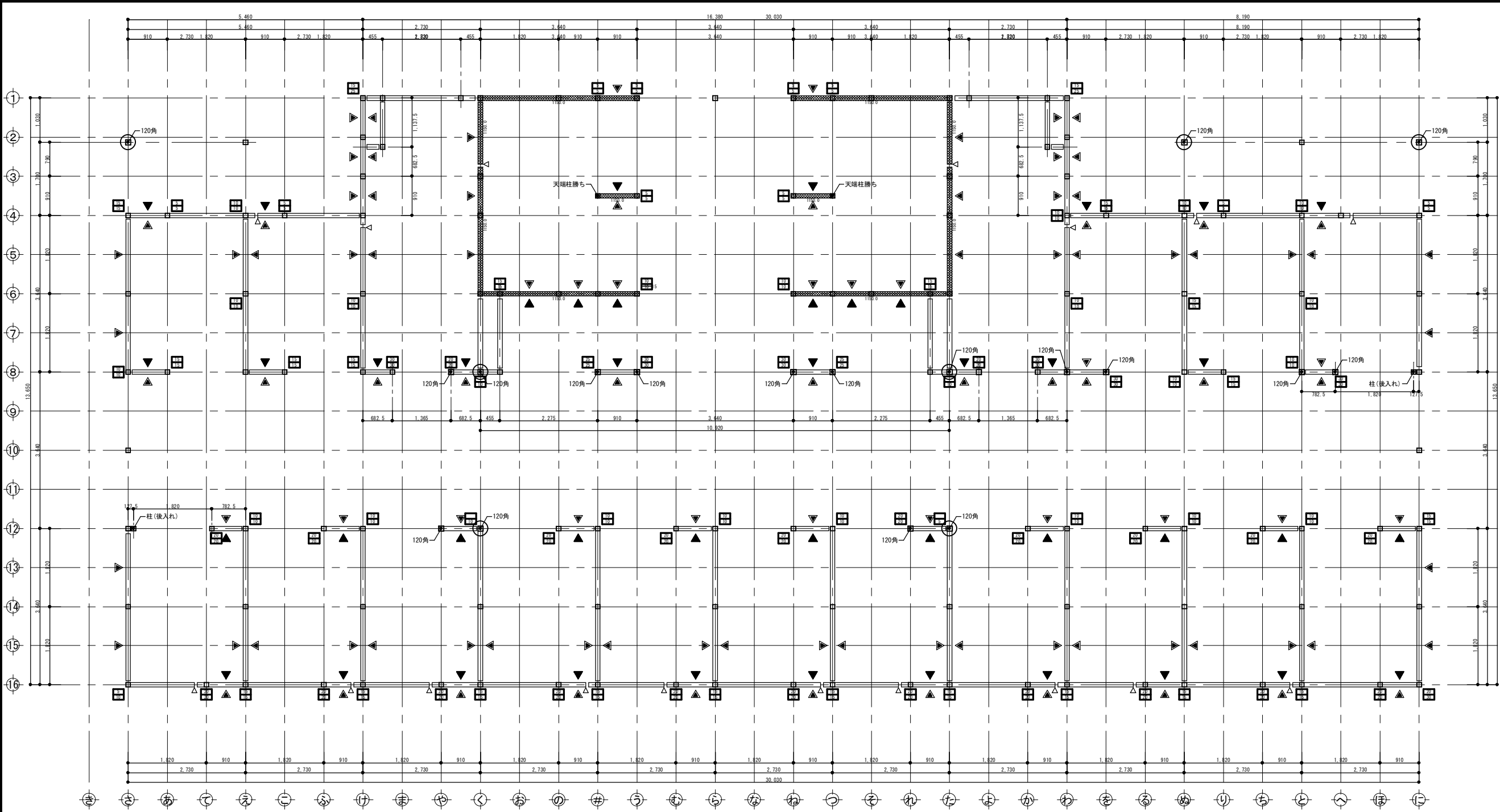
岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 厩舎3-41(43)	基礎標準図 1	図面番号 M4-2 / M4-37
縮 尺	1/20	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

FG3 断面詳細図		FG4 断面詳細図		FG5 断面詳細図																									
FG6 断面詳細図		FG7 断面詳細図		FG8 断面詳細図																									
<div>■下記事項は基礎標準仕様書による</div> <div><div>・重ね継手の長さ</div><div>・鉄筋の間隔 あき 定着</div><div>・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による</div></div>				<table><tr><td colspan="4">岐阜県地方競馬組合</td></tr><tr><td>工事名</td><td colspan="3">厩舎（岐南第4区画）新築工事</td></tr><tr><td>種別</td><td>岐南4区画 厩舎3-41(43)</td><td>基礎標準図2</td><td>図面番号 W4-3 / W4-37</td></tr><tr><td>縮尺</td><td>1/20</td><td>作成年月</td><td>令和7年12月</td></tr><tr><td>設計者</td><td colspan="3">Ai 設計室 有限会社</td></tr><tr><td>一級建築士氏名印</td><td colspan="3">大臣登録244782号 杉山 雅章 印</td></tr></table>		岐阜県地方競馬組合				工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事			種別	岐南4区画 厩舎3-41(43)	基礎標準図2	図面番号 W4-3 / W4-37	縮尺	1/20	作成年月	令和7年12月	設計者	Ai 設計室 有限会社			一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		
岐阜県地方競馬組合																													
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事																												
種別	岐南4区画 厩舎3-41(43)	基礎標準図2	図面番号 W4-3 / W4-37																										
縮尺	1/20	作成年月	令和7年12月																										
設計者	Ai 設計室 有限会社																												
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印																												



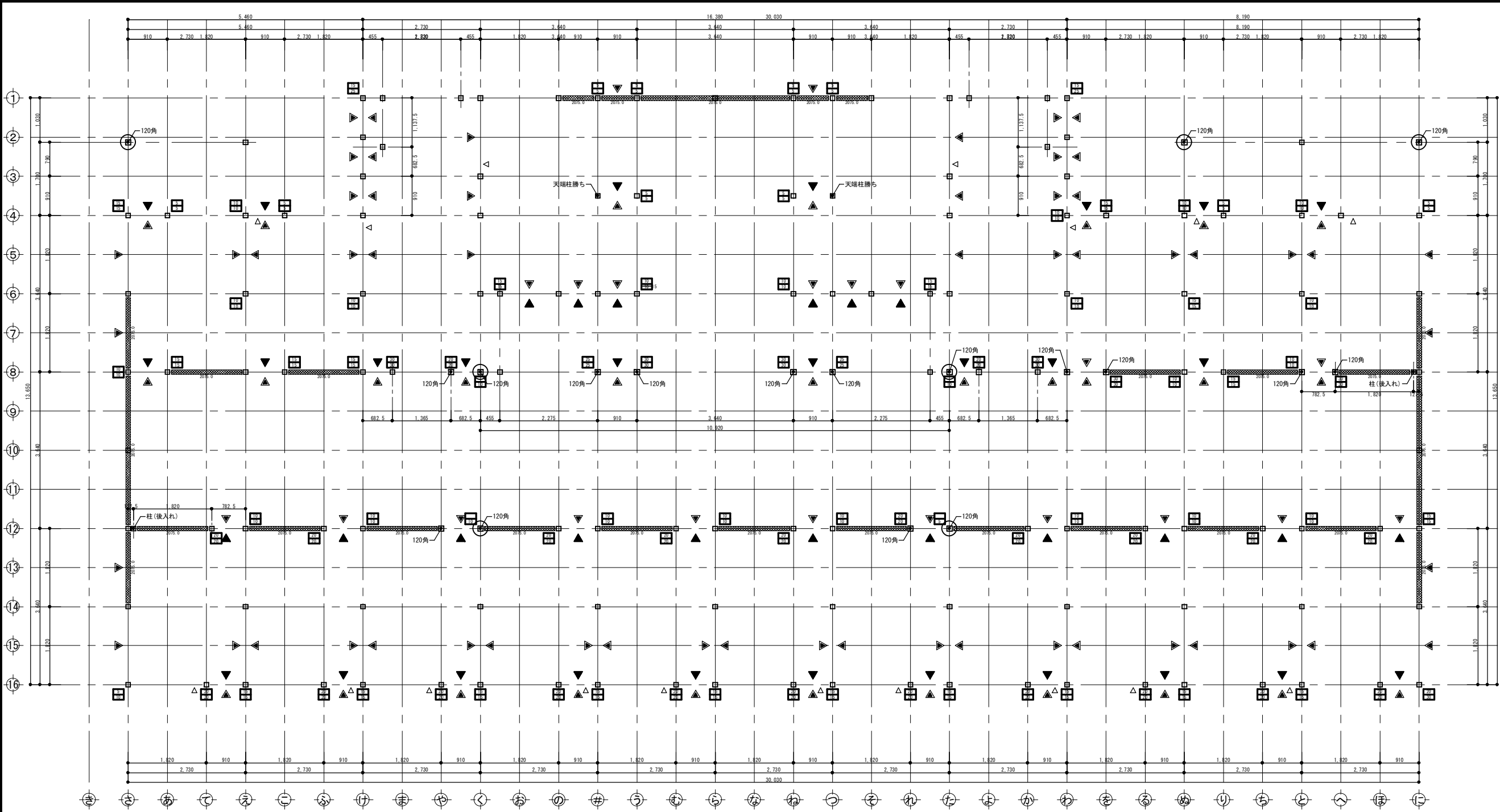
■下記事項は基礎標準仕様書による
・重ね継手の長さ
・鉄筋の間隔 あき 定着
・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による








岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎3-41(43)	基礎標準図3	図面番号 W4-4 / M4-37
縮尺	1/20	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



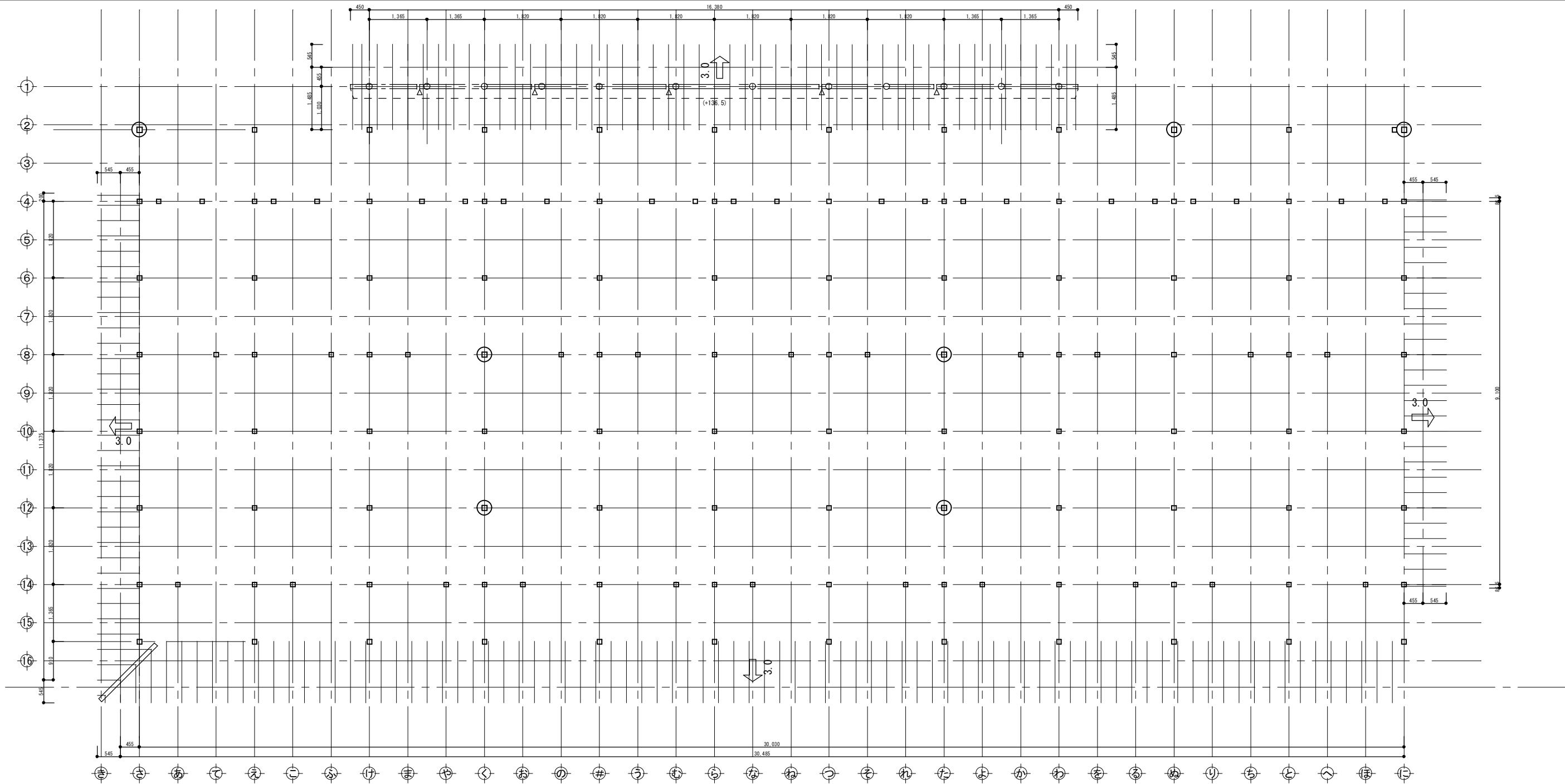
凡例			柱・柱頭柱脚金物				横架材			
記号	軸組の構造	倍率	□	管柱 105×105 (ほぞ 30×88)	20	柱脚柱頭金物 HD20同等以上	□	土台 (K3防腐防蟻処理)	□ □ □	大引
上▽下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0	⊙	1～2階 通柱 120×120 (ほぞ 30×88)	25	柱脚柱頭金物 HD25同等以上	×▽□	継手		
⊠	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0	5	柱脚柱頭金物 HDC5kN同等以上	30	柱脚柱頭金物 HD30同等以上	備考			
▼	構造用合板、構造用ﾊﾞﾙｸ、構造用MDF、構造用PB t=9 大壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	2.5	10	柱脚柱頭金物 HD10同等以上	40	柱脚柱頭金物 HD40同等以上	GLより1mの範囲は塗布にて防腐防蟻処理を行う。			
▽	構造用合板、構造用ﾊﾞﾙｸ、構造用MDF、構造用PB t=9 真壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)	2.5	15	柱脚柱頭金物 HD15同等以上	特記なき土台は、天端を±0 (FL-**) とする。					
▼	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×60以上N75@120以下)	3.7	標準部材リスト(1階)							
▼	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3								
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜力算定時は足し合わせた倍率とする。										
							標準部材リスト(1階)			
							部材名	樹種	寸法	材料 等級
							管柱1階	スプルース	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315
							土台	べいまつ	105×105	無等級材
							大引	ひのき	105×105	無等級材
			特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。							

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎3-41(43) 1階 床伏図	図面番号	W4-5 / M4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



凡例			柱・柱頭柱脚金物				横架材							
記号	軸組の構造	倍率	□	管柱 105×105 (ほぞ 30×88)	20	柱脚柱頭金物 HD20同等以上		土台 (K3防腐防蟻処理)	〃 二 〃	大引				
上 ▽ 下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0	⊠	1～2階 通柱 120×120 (ほぞ 30×88)	25	柱脚柱頭金物 HD25同等以上		継手						
	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0	5	柱脚柱頭金物 HDC5kN同等以上	30	柱脚柱頭金物 HD30同等以上	備考							
	構造用合板、構造用ﾊﾞｰﾑ、構造用MDF、構造用PB t=9 大壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	2.5	10	柱脚柱頭金物 HD10同等以上	40	柱脚柱頭金物 HD40同等以上	GLより1mの範囲は塗布にて防腐防蟻処理を行う。 特記なき土台は、天端を±0 (FL-**) とする。 標準部材リスト(1階)							
	構造用合板、構造用ﾊﾞｰﾑ、構造用MDF、構造用PB t=9 真壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)	2.5	15	柱脚柱頭金物 HD15同等以上	※特記なき柱の柱脚柱頭は、かすがい同等以上で接合する。 ※梁受け金物と干渉する柱頭柱脚金物は、ホゾパイプとする。 ※下階柱頭と上階柱脚の金物を直接緊結する場合は、上下階で引張耐力の大きい金物に合わせて同じ金物を使用する。									
	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×60以上N75@120以下)	3.7												
	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3												
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜力算定時は足し合わせた倍率とする。														
							部材名	樹種	寸法	材料 等級				
							管柱1階	すぎ	105×105	同一等級構成集成材 E65-F255				
							土台	ひのき	105×105	無等級材				
							大引	ひのき	105×105	無等級材				
							特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。							

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合			
工事名	厩 舎 (岐 南 第 4 区 画) 新 築 工 事		
種 別	岐南4区画 1階 床伏図 (+2210)	図面番号	W4-6 / M4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有 限 会 社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

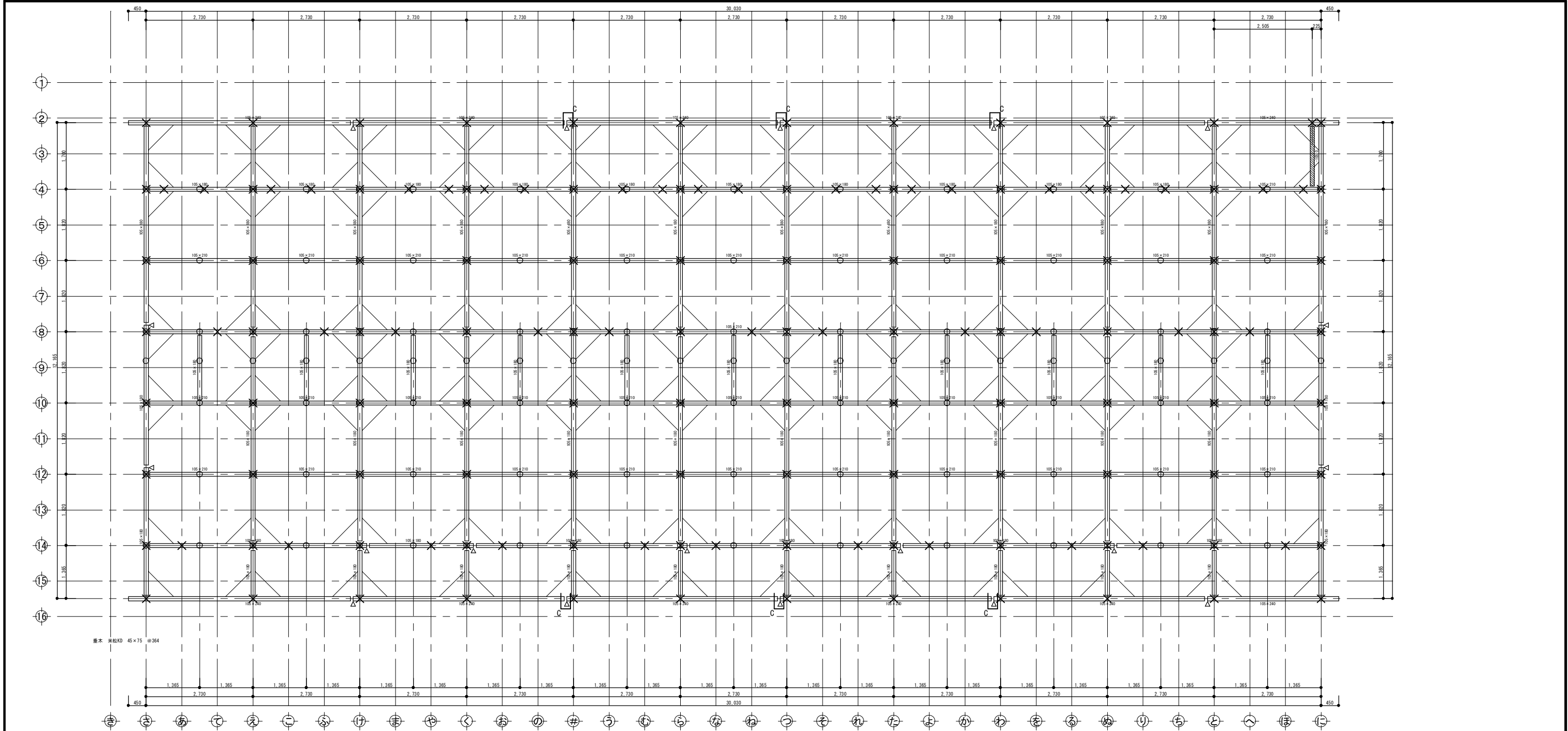









横架材・束			
○	小屋束	×	下階柱
□	棟木	□	母屋
□	合板受材	□	登梁
□	継手	□	垂木
水平構面			
凡例	種類	水平構面の仕様 受材等	∠10a (kN/m)
□	屋根構面	構造用合板t=9~15 N50@150以下 (30度以下) 垂木45×45以上@500以下 転ばし	1.37

屋根	
野地板：構造用合板t=12	
垂木-軒桁接合部：ひねり金物ST-12(4-ZN40)同等以上 垂木-母屋接合部：タルキックⅡ	
屋根：ガルバリウム鋼板t=0.35 立平ぶき 吊子間隔225mm	
屋根ふき材は令39条2項、昭46建告109の構造による	

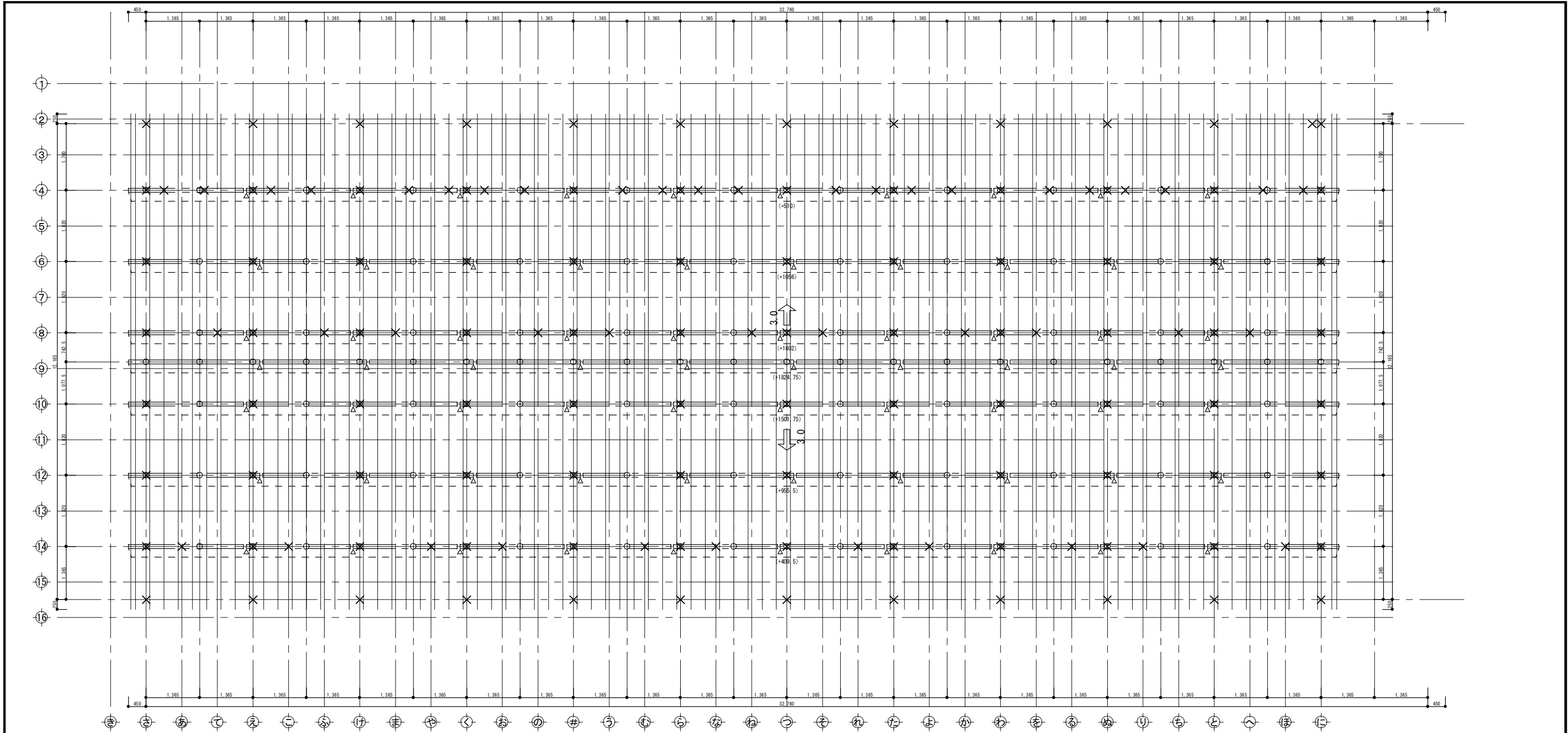
標準部材リスト(屋根)			
部材名	樹種	寸法	材料 等級
母屋	すぎ	105×105	無等級材
棟木	すぎ	105×105	無等級材
隅木・谷木	すぎ	105×105	無等級材
登梁	オウゴンカマツ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300
小屋束	スプルス	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315
垂木	べいまつ	45×75@364	無等級材
特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合			
工事名	厩 舎 (岐 南 第 4 区 画) 新 築 工 事		
種 別	岐南4区画 厩舎3-41(43)	図面番号	W4-8 / M4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有 限 公 司		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



横架材				横架材接合部凡例			Ta (kN)
	梁		下階柱	B	大入蟻掛+羽子板ボルト又は腰掛鎌継+短冊金物		10.1
	合板受材		登梁	C	大入蟻掛+羽子板ボルト×2又は腰掛鎌継+短冊金物×2		15.9
	木製火打		鋼製火打	特記なき横架材接合部はA: 羽子板ボルト又は短冊金物 (Ta=7.5kN) とする。			
	継手						
標準部材リスト (小屋階)							
部材名		樹種	寸法	材料 等級			
小屋梁		オウシュウカマツ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300			
特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする							

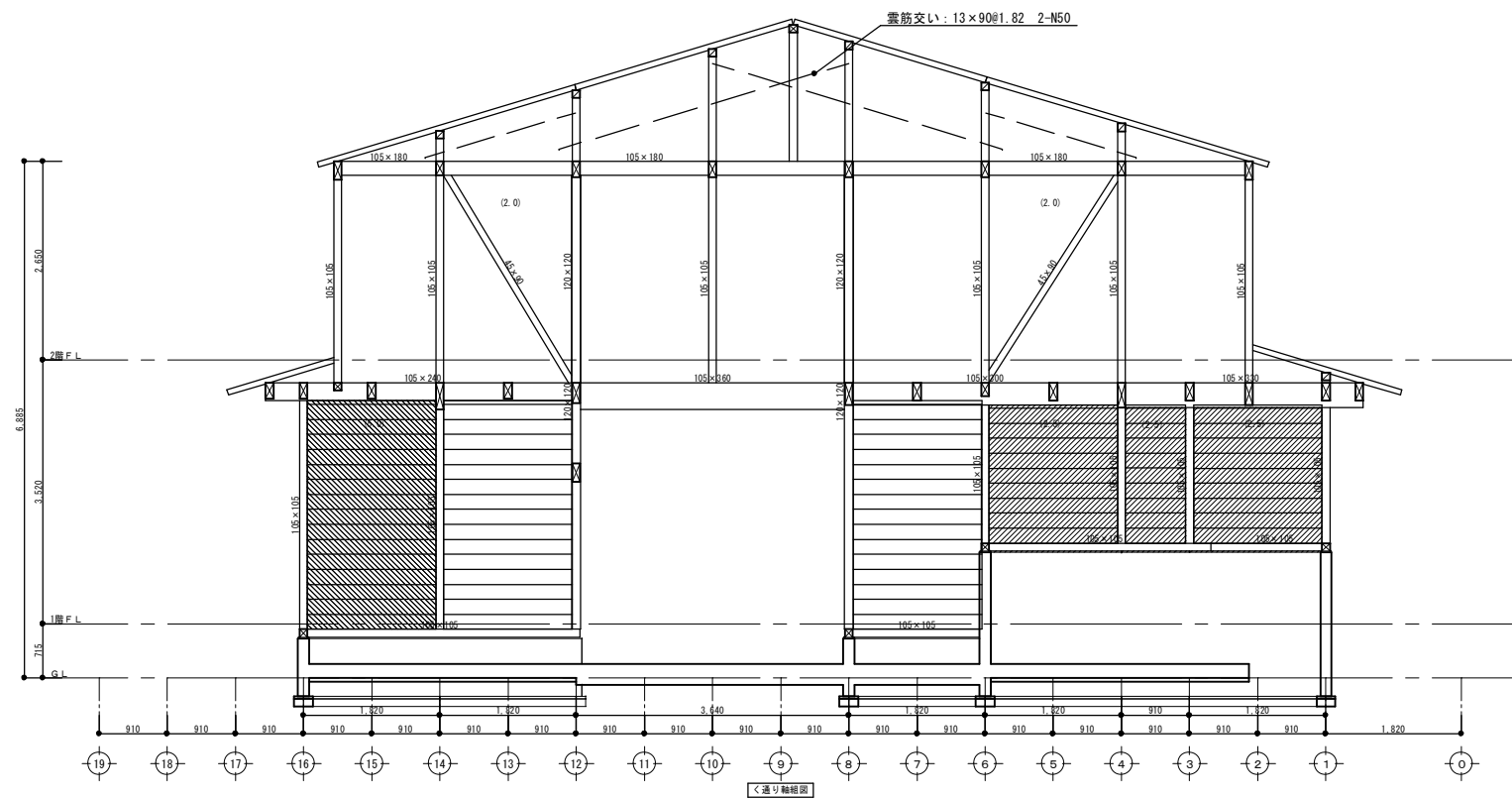
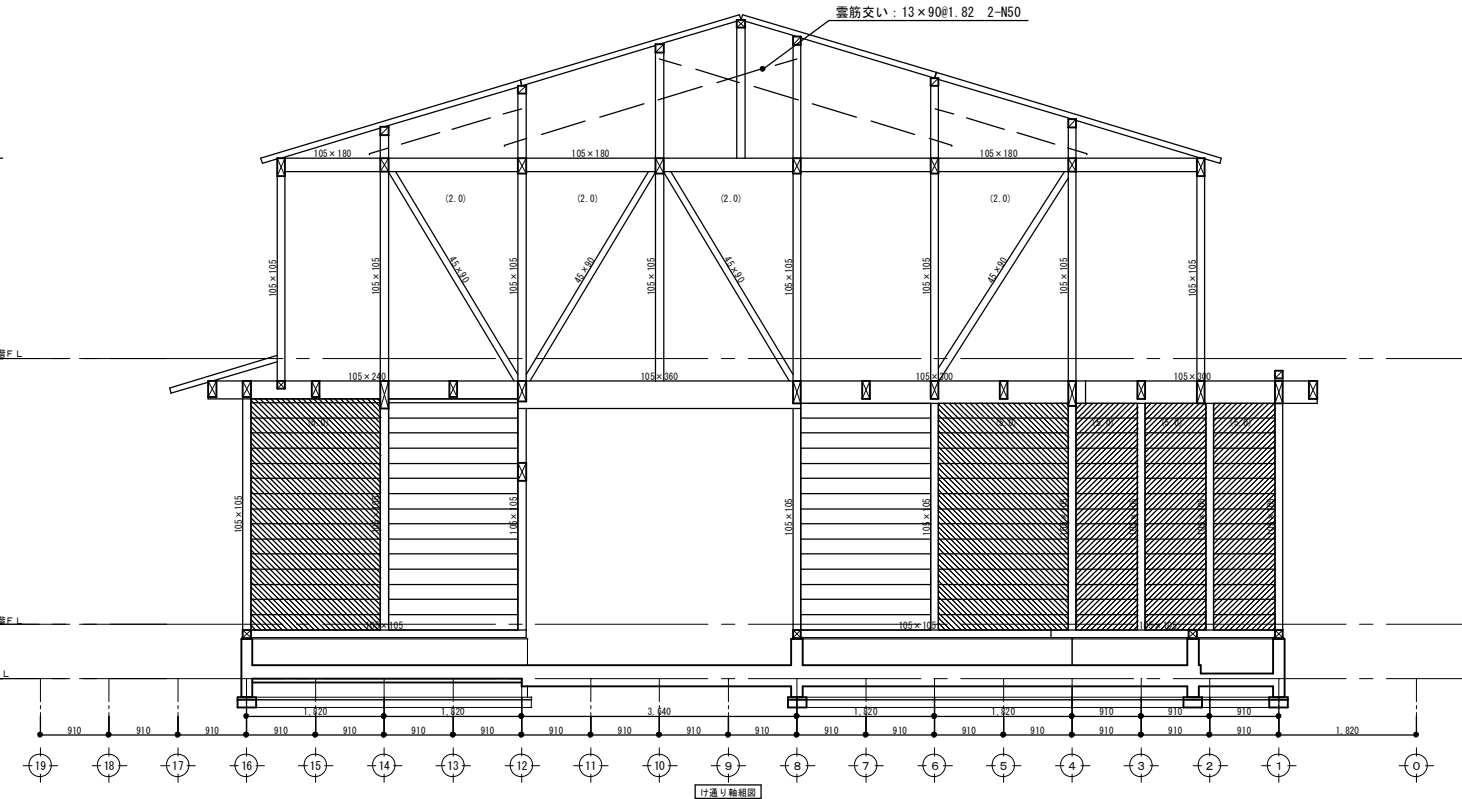
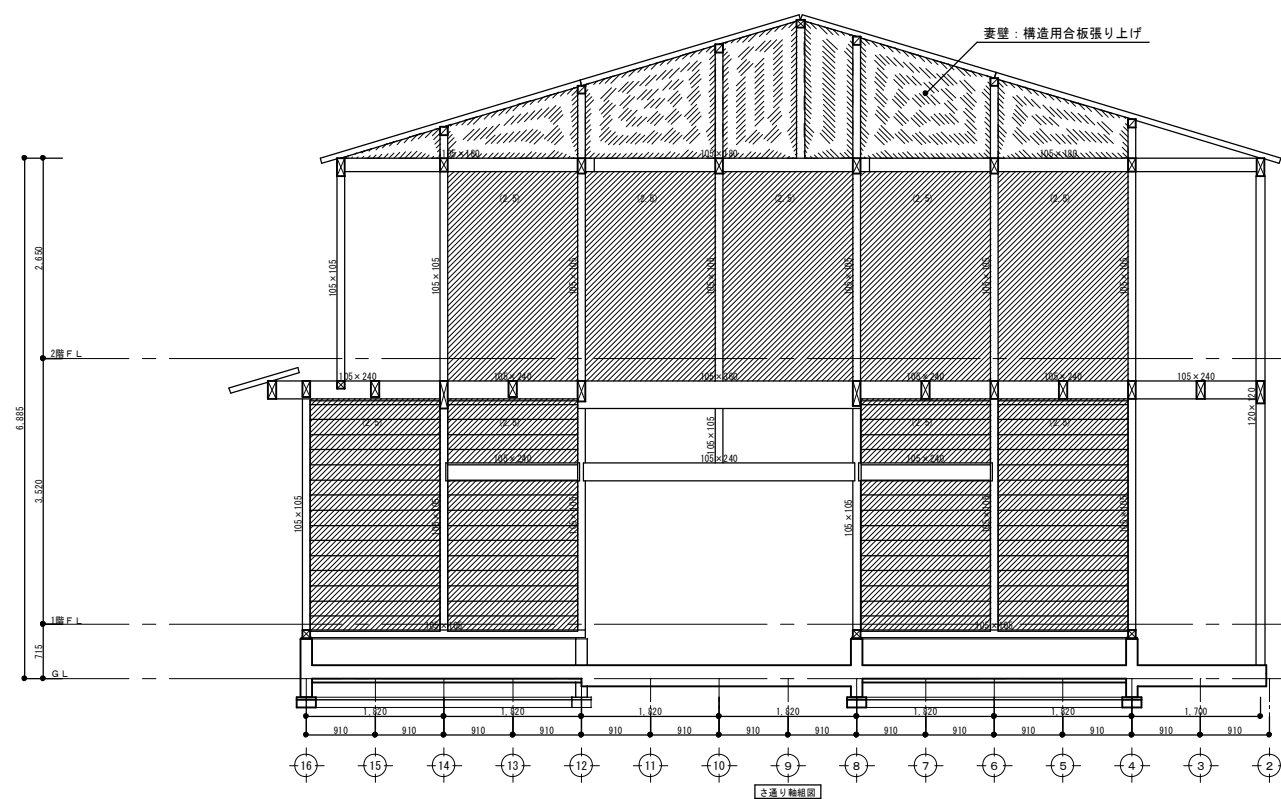
岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合			
工事名	厩 舎 (岐 南 第 4 区 画) 新 築 工 事		
種 別	岐南4区画 厩舎3-41 (43) 小屋伏図	図面番号	W4-9 / M4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有 限 公 司		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



横架材・束				水平構面				標準部材リスト(屋根)			
○	小屋束	×	下階柱	凡例	種類	水平構面の仕様 受材等	△0a (kN/m)	部材名	樹種	寸法	材料 等級
□	棟木	□□□□	母屋	□	屋根構面	構造用合板t=9~15 N50@150以下 (30度以下) 垂木45×45以上@500以下 転ばし	1.37	母屋	すぎ	105×105	無等級材
□ □ □	合板受材	□□□	登梁	屋根				棟木	すぎ	105×105	無等級材
△▽□	継手	—	垂木	野地板： 構造用合板t=12				隅木・谷木	すぎ	105×105	無等級材
				垂木-軒桁接合部：ひねり金物ST-12(4-ZN40)同等以上 垂木-母屋接合部：タルキックⅡ				登梁	カシワヅカサ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300
				屋根：ガルバリウム鋼板t=0.35 立平ぶき 吊子間隔225mm				小屋束	スプルース	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315
				屋根ふき材は令39条2項、昭46建告109の構造による				垂木	べいまつ	45×75@364	無等級材
								特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			

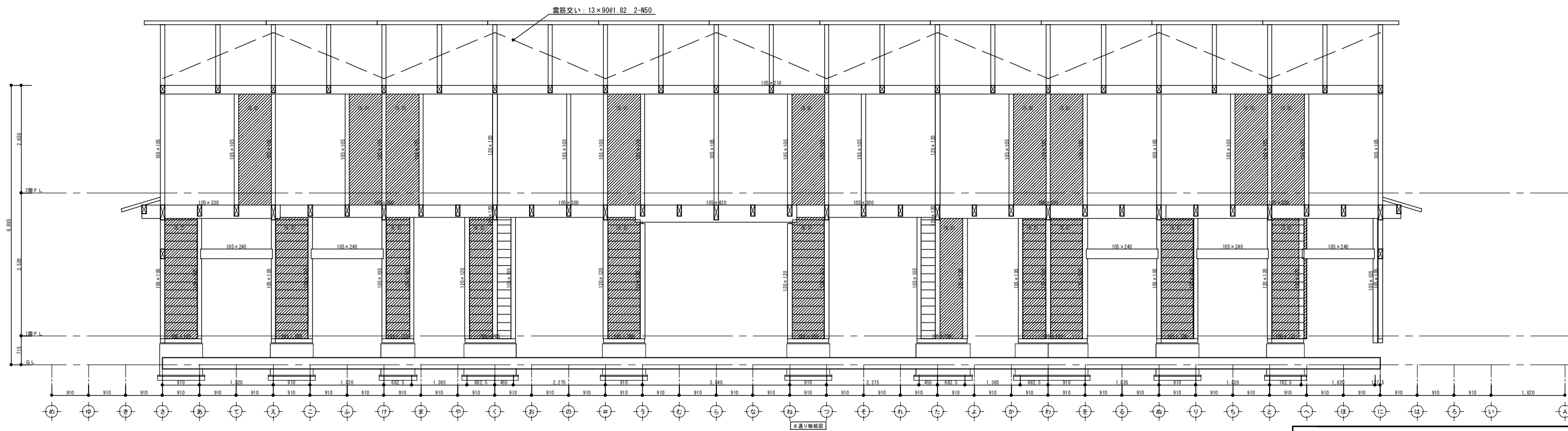
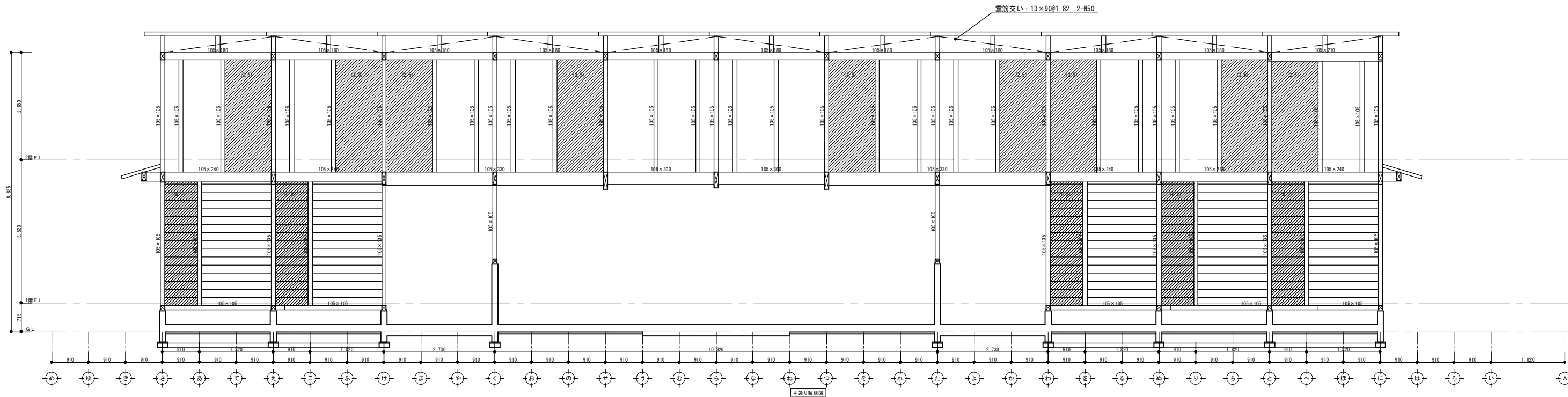
※界壁上、垂木二重（並列）にて配置

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 厩舎3-41(43) 2階母屋伏図	図面番号	W4-10/ M4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



※特記なき柱は、105×105

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 厩舎3-41(43)	軸組図 1	図面番号 W4-11/ M4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

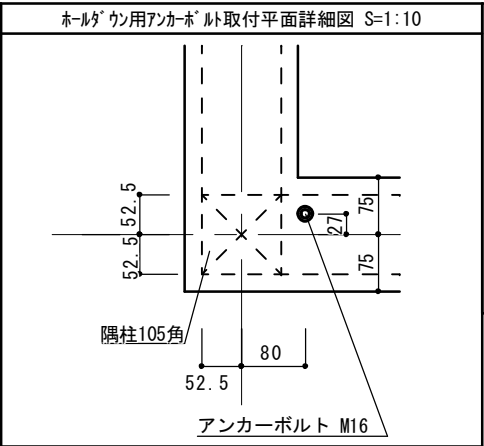


※特記なき柱は、105×105

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 厩舎3-41(43) 軸組図 2	図面番号	W4-12/ M4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



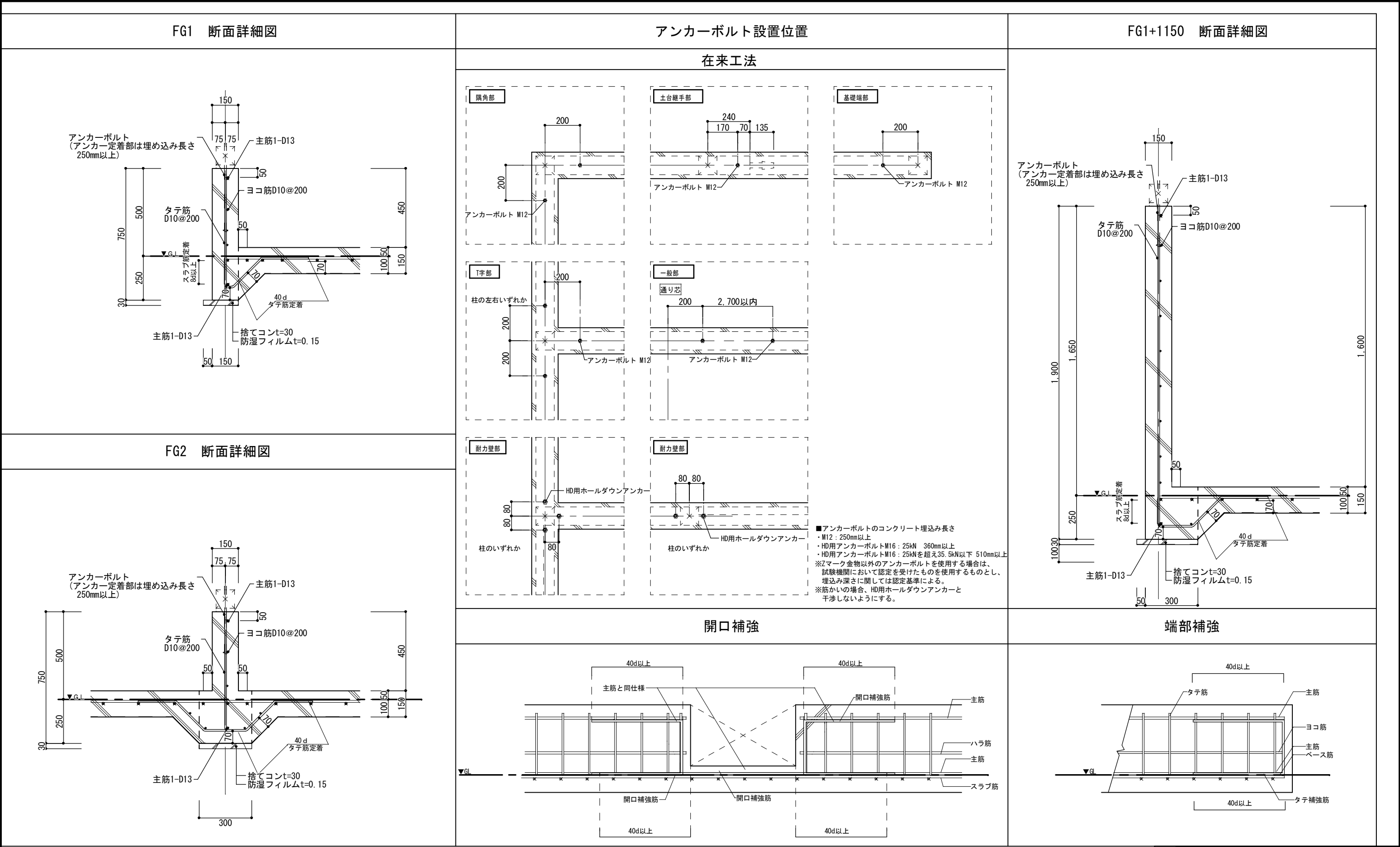
凡例図	
	コンクリート打増
	床下人通路 (W:600・H:350)
	土台継手位置
	アンカーボルトM12 出115
	ホール金物用アンカーボルトM16 出550 特記なき取付寸法はホール金物用アンカーボルト取付平面詳細図による
	柱脚金物



※特記なきスラブはFS1とし、
スラブ天端は設計GL+50とする。
※特記なき外周基礎はFG1とする。
※特記なき内周基礎はFG2とする。
※設計基準強度 $F_c=21$
強度補正は基礎標準仕様書による。

スラブ配筋	厚(mm)	短辺方向		長辺方向	
		端部	中央	端部	中央
FS1	150	D13@200シングル		D13@200シングル	
FS2	150	D13@150シングル		D13@150シングル	
FS3	150	D13@100シングル		D13@100シングル	
特記					
設計地耐力 25 kN/m ²					
基礎の寸法 及び 配筋の検証方法	別添：ARCHITRENDZERO木造構造計算 『構造計算書』による。 具体的な寸法・配筋は基礎詳細図参照				

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎4-42	基礎伏図	図面番号 W4-13/ W4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



FG2 断面詳細図

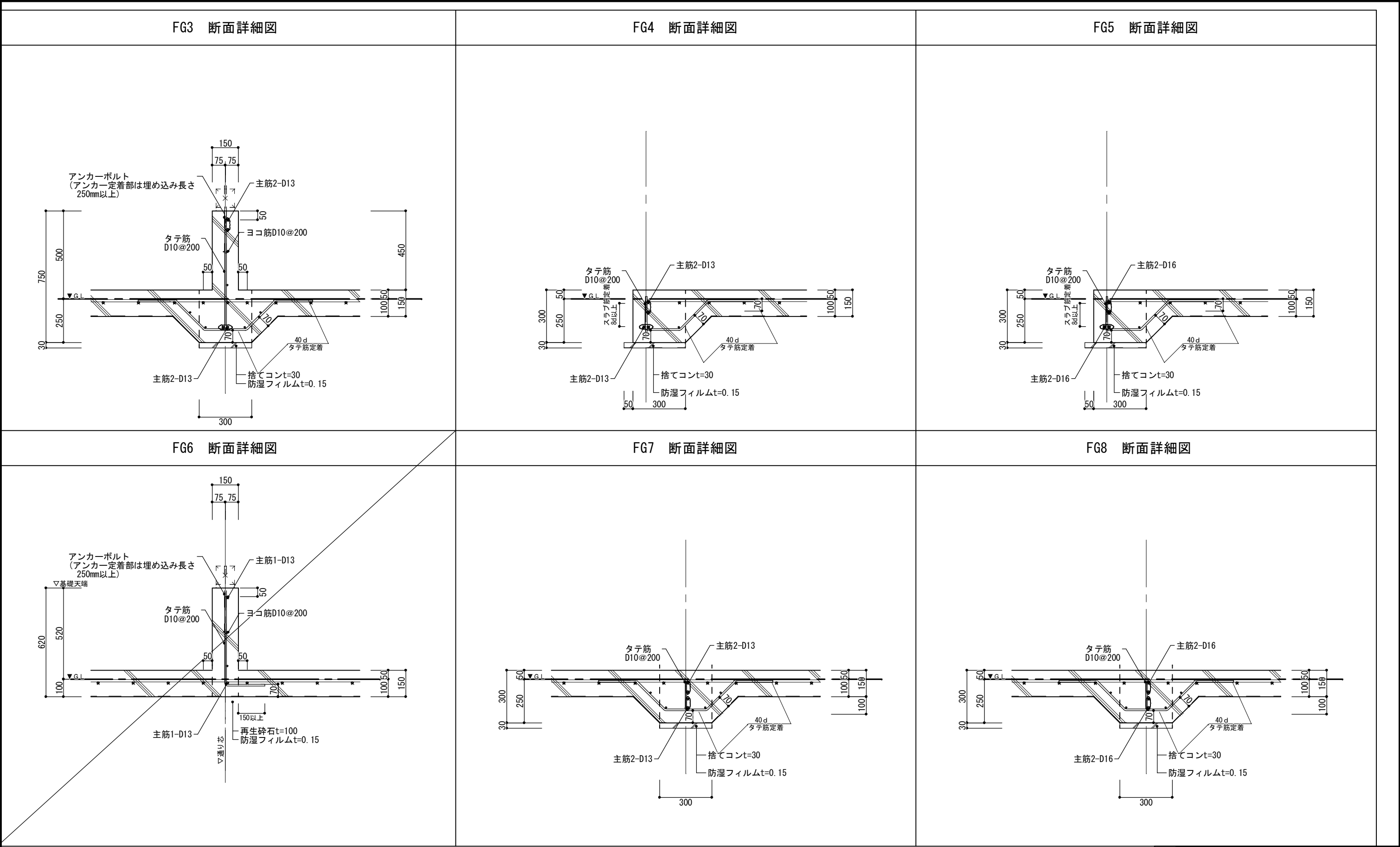
開口補強

端部補強

■下記事項は基礎標準仕様書による

- ・重ね継手の長さ
- ・鉄筋の間隔 あき 定着
- ・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合			
工事名	厩 舎（岐 南 第 4 区 画）新 築 工 事		
種 別	岐南4区画 厩舎4-42	基礎標準図 1	図面番号 W4-14/ W4-37
縮 尺	1/20	作成年月	令和7年12月
設計者		A i 設 計 室 有 限 公 司	
一級建築士氏名印		大臣登録244782号—杉山—雅章—印	



■下記事項は基礎標準仕様書による

・重ね継手の長さ

・鉄筋の間隔 あき 定着

・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による

岐阜県地方競馬組合

工事名

厩舎（岐南第4区画）新築工事

種 別

岐南4区画
厩舎4-42

基礎標準図 2

図面番号

W4-15/
W4-37

縮 尺

1/20

作成年月

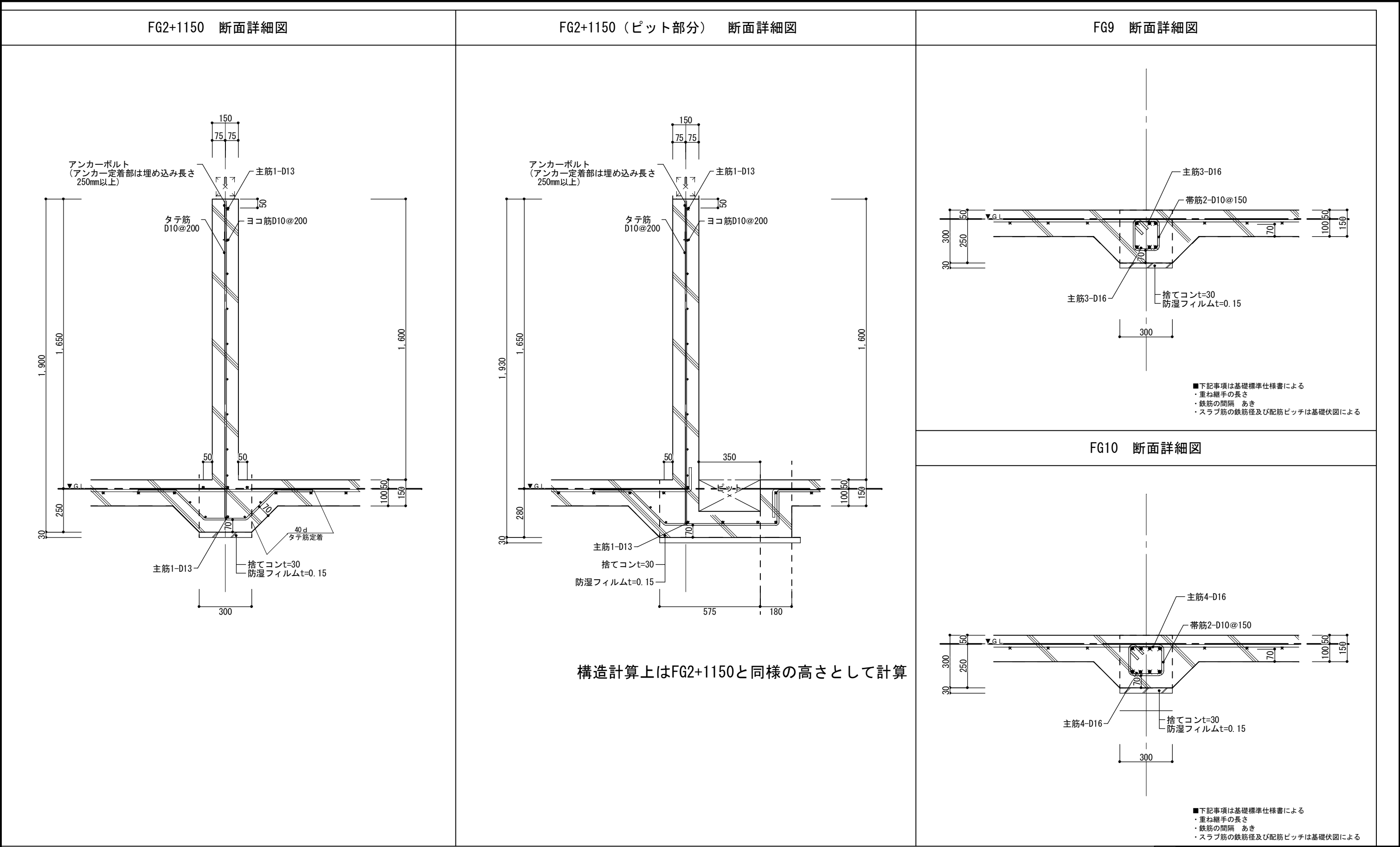
令和7年12月

設計者

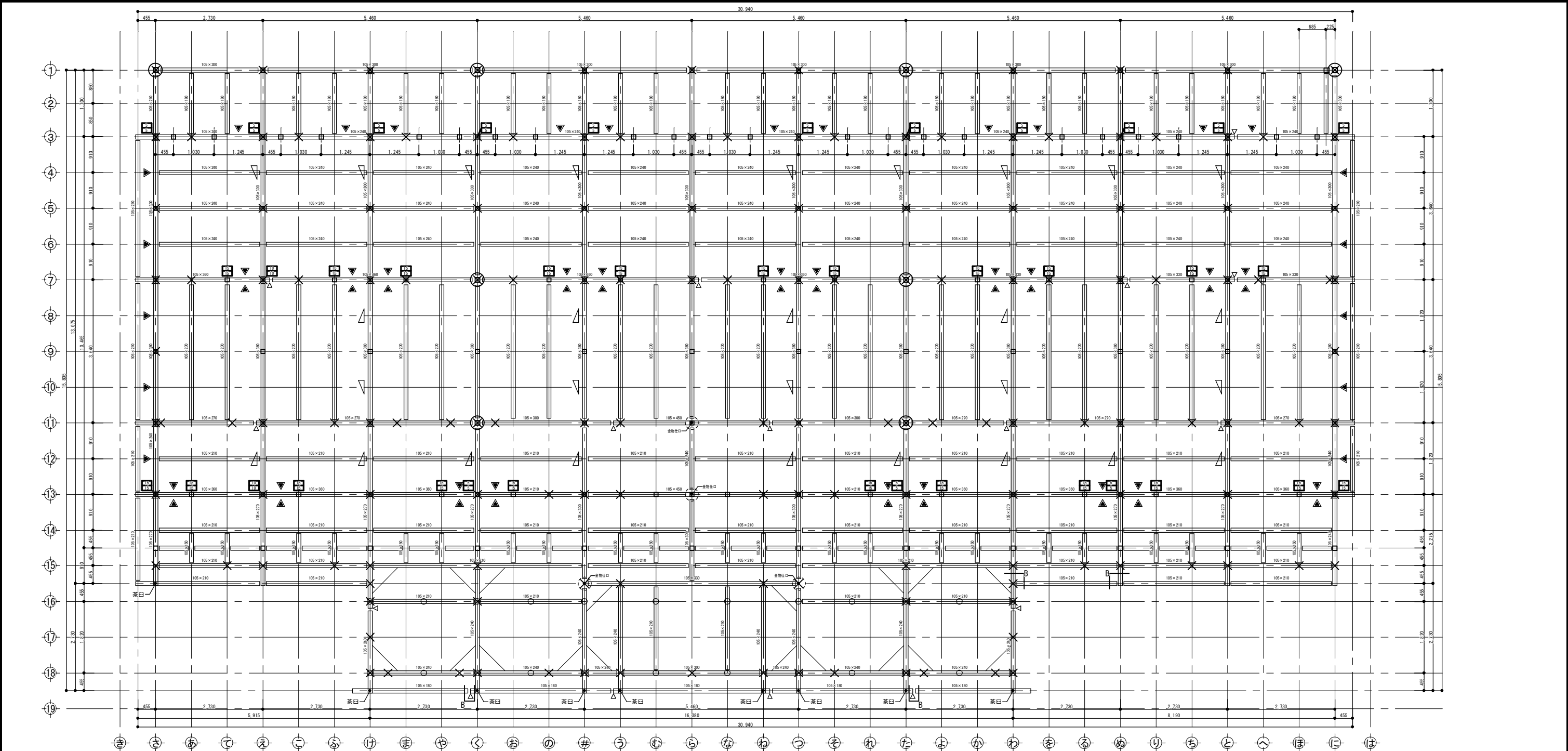
Ai 設 計 室 有限会社

一級建築士氏名印

大臣登録244782号—杉山—雅章—印



■下記事項は基礎標準仕様書による ・重ね継手の長さ ・鉄筋の間隔 あき 定着 ・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による			
岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎4-42	基礎標準図3	図面番号 W4-16/ W4-37
縮尺	1/20	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計 室 有限会社		
級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



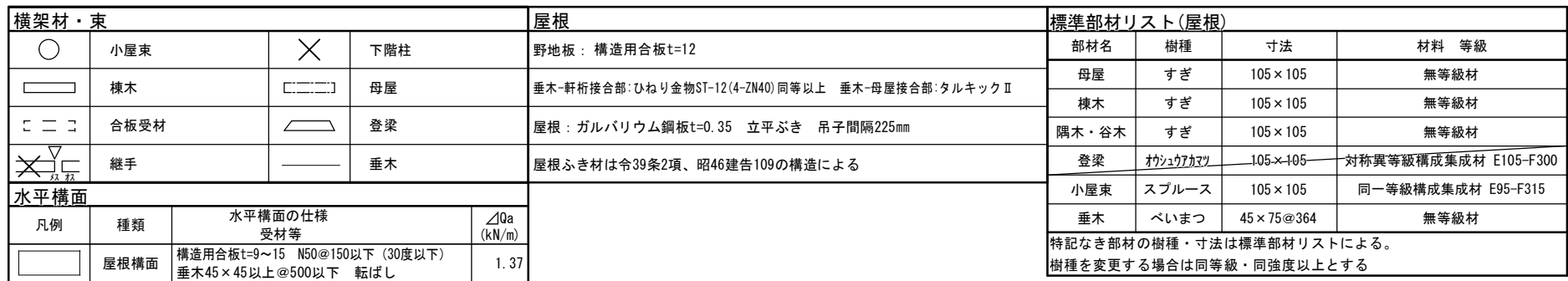
凡例		
記号	軸組の構造	倍率
上 下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0
⊠	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0
▽	構造用合板、構造用ﾊﾞﾙｸ、構造用MDF、構造用PB t=9 大壁 (くぎN50 内外周@150以下)	2.5
▽	構造用合板、構造用ﾊﾞﾙｸ、構造用MDF、構造用PB t=9 真壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)	2.5
▼	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (くぎGN50 外@75以下、中@150以下)	3.7
▼	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (くぎGN50 外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜力算定時は足し合わせた倍率とする。		

柱・柱頭柱脚金物			
□	管柱 105×105 (ほぞ 30×88)	20	柱脚柱頭金物 HD20同等以上
⊕	1～2階 通柱 120×120 (ほぞ 30×88)	25	柱脚柱頭金物 HD25同等以上
5	柱脚柱頭金物 HDC5kN同等以上	30	柱脚柱頭金物 HD30同等以上
10	柱脚柱頭金物 HD10同等以上	40	柱脚柱頭金物 HD40同等以上
15	柱脚柱頭金物 HD15同等以上	※特記なき柱の柱脚柱頭は、かすがい同等以上で接合する。 ※梁受け金物と干渉する柱頭柱脚金物は、ホソパイプとする。 ※下階柱頭と上階柱脚の金物を直接緊結する場合は、上下階で 引張耐力の大きい金物に合わせて同じ金物を使用する。	

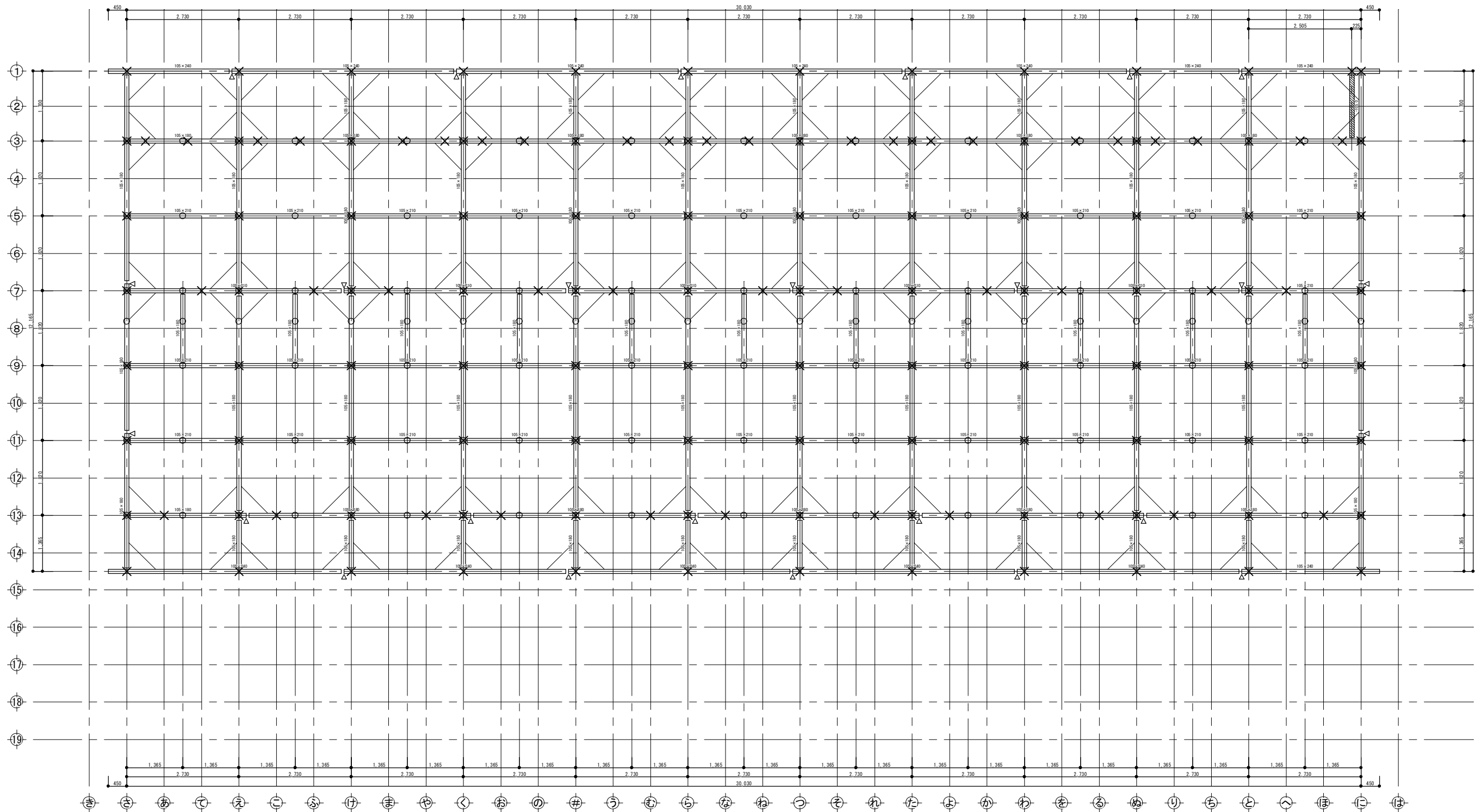
横架材			
梁	下階柱	合板受材	登梁
木製火打	鋼製火打	継手	
横架材接合部凡例			
B	大入蟻掛+羽子板ボルト又は腰掛鎌継+短冊金物	10.1	Ta(kN)
C	大入蟻掛+羽子板ボルト×2又は腰掛鎌継+短冊金物×2	15.9	
特記なき横架材接合部はA:羽子板ボルト又は短冊金物(Ta=7.5kN)とする。			








水平構面			
凡例	種類	水平構面の仕様 受材等	△0a (kN/m)
	床構面	構造用合板t=24～30 N75@150以下川字打ち	3.53
標準部材リスト(2階)			
部材名	樹種	寸法	材料 等級
管柱2階	スプルース	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315
梁2階	オウケ7カマツ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300
特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎4-42	2階床伏図	図面番号 W4-19/ W4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

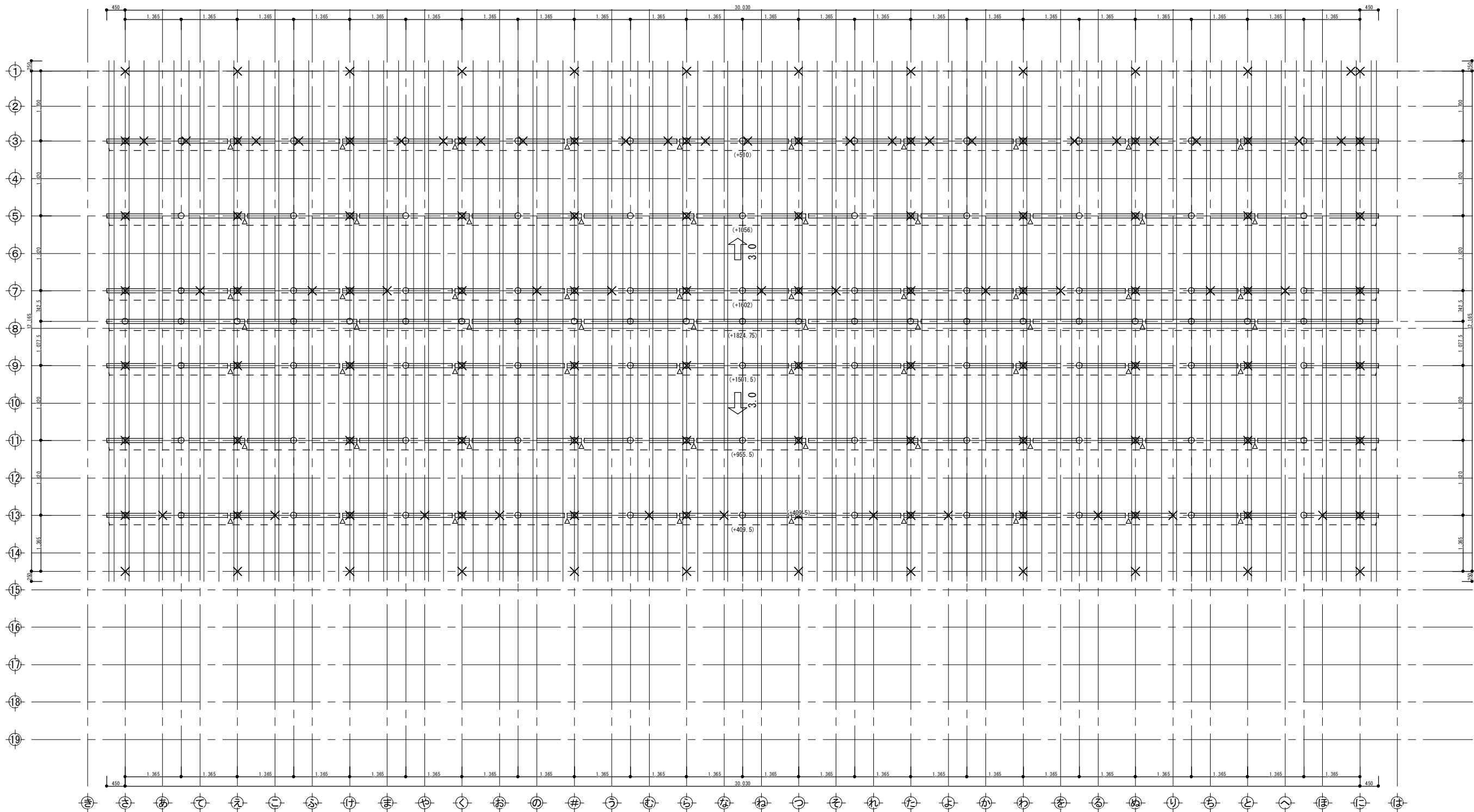


岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 厩舎4-42	1階母屋伏図	図面番号 W4-20/ W4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者 一級建築士氏名印		Ai 設 計 室 有限会社 大臣登録244782号 杉山 雅章 印	



横架材				横架材接合部凡例			Ta(kN)
	梁		下階柱	B	大入蟻掛+羽子板ボルト又は腰掛鎌継+短冊金物		10.1
	合板受材		登梁	C	大入蟻掛+羽子板ボルト×2又は腰掛鎌継+短冊金物×2		15.9
	木製火打		鋼製火打	特記なき横架材接合部はA:羽子板ボルト又は短冊金物(Ta=7.5kN)とする。			
	継手						
標準部材リスト(小屋階)							
部材名		樹種	寸法	材料 等級			
小屋梁		カシワ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300			
特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする							

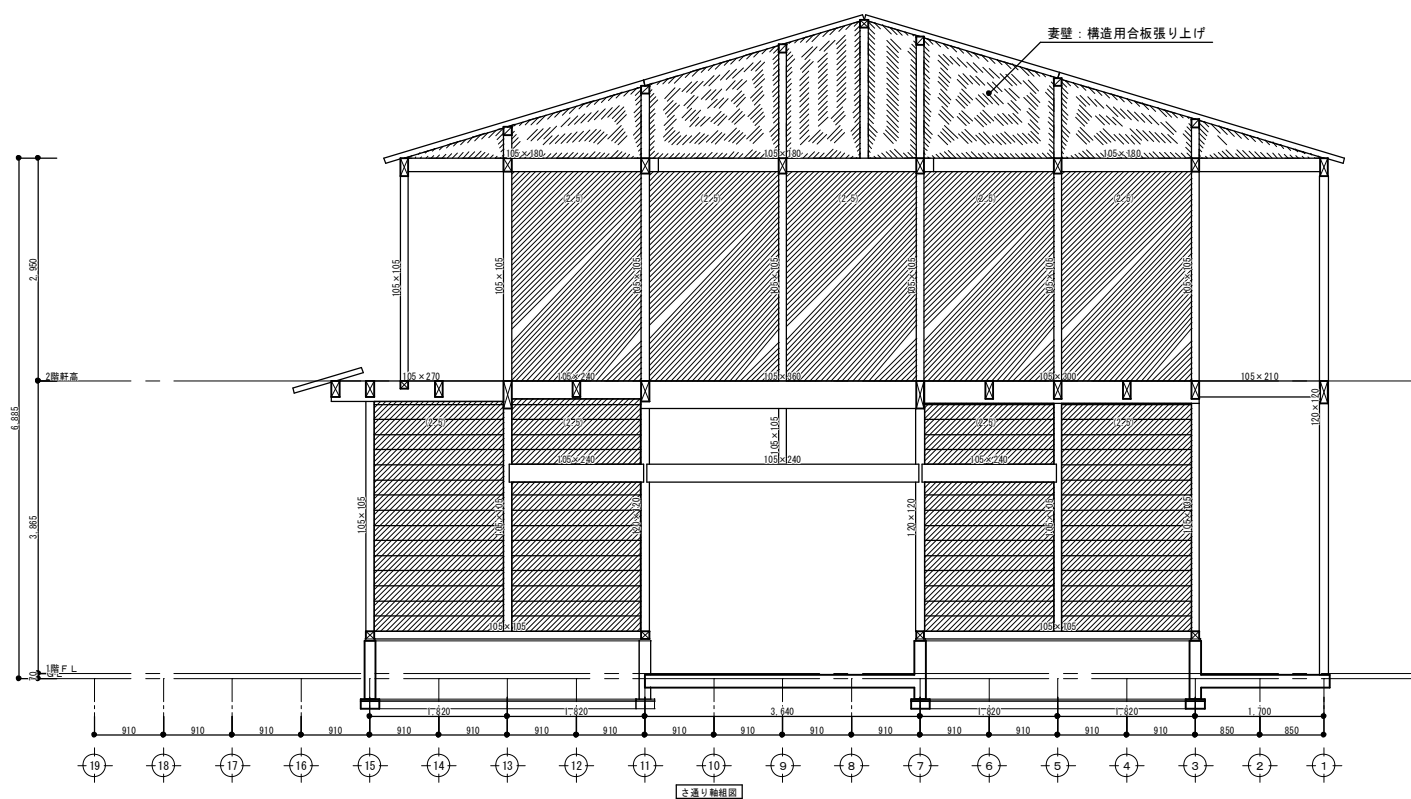
岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合				
工事名	厩 舎 (岐 南 第 4 区 画) 新 築 工 事			
種 別	岐南4区画 厩舎4-42	小屋伏図	図面番号	W4-21/ W4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月	
設計者		Ai 設 計 室 有 限 公 司		
一級建築士氏名印		大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

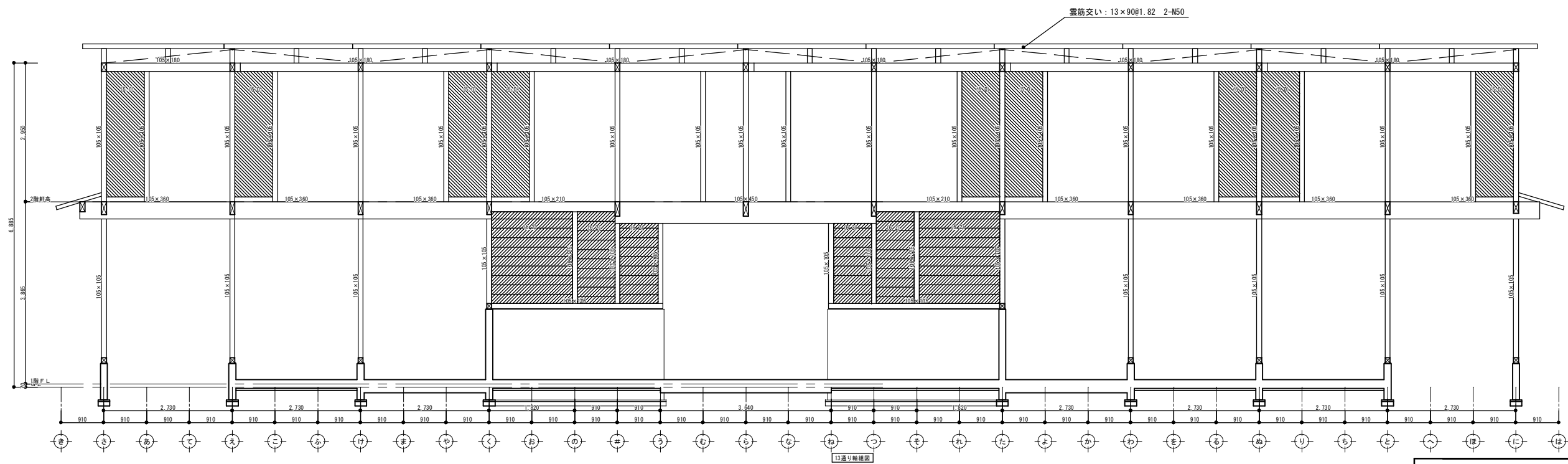
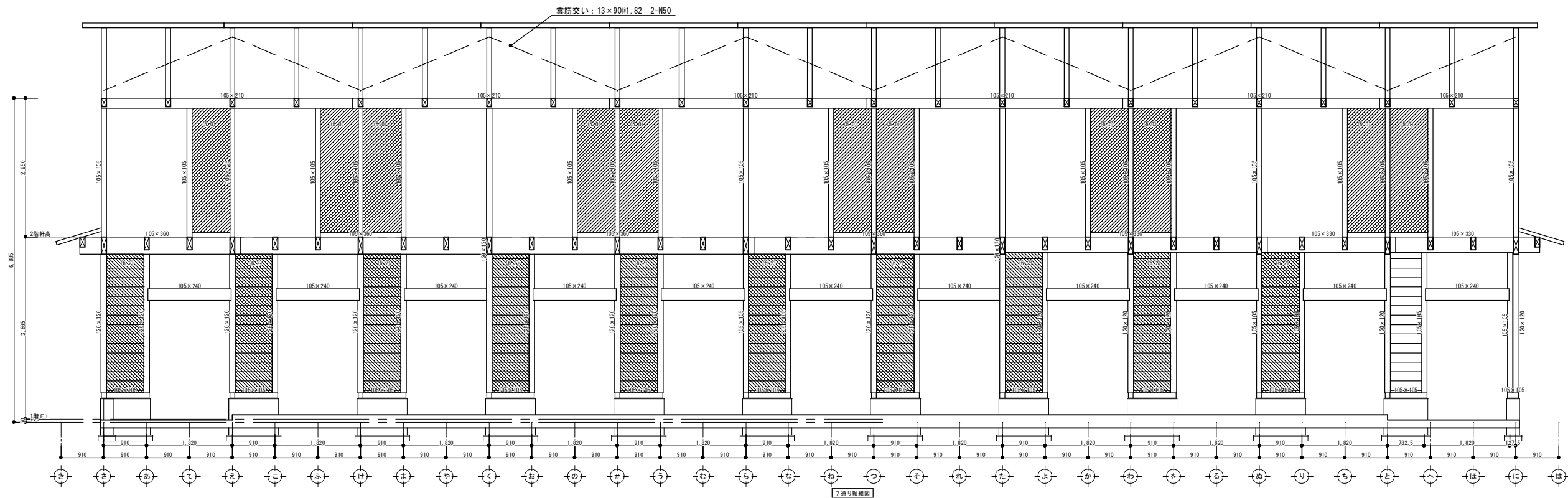


横架材・束				水平構面				標準部材リスト(屋根)			
○	小屋束	×	下階柱	凡例	種類	水平構面の仕様 受材等	△0a (kN/m)	部材名	樹種	寸法	材料 等級
□	棟木	□	母屋	屋根構面	構造用合板t=9~15 N50@150以下 (30度以下) 垂木45×45以上@500以下 転ばし	1.37		母屋	すぎ	105×105	無等級材
□ □ □	合板受材	□	登梁	屋根				棟木	すぎ	105×105	無等級材
×	継手	—	垂木	野地板：構造用合板t=12				隅木・谷木	すぎ	105×105	無等級材
				垂木・軒桁接合部：ひねり金物ST-12 (4-ZN40) 同等以上 垂木-母屋接合部：タルキックⅡ				登梁	オクシウアカツ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300
				屋根：ガルバリウム鋼板t=0.35 立平ぶき 吊子間隔225mm				小屋束	スプルー	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315
				屋根ふき材は令39条2項、昭46建告109の構造による				垂木	べいまつ	45×75@364	無等級材
								特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			

※界壁上、垂木二重（並列）にて配置

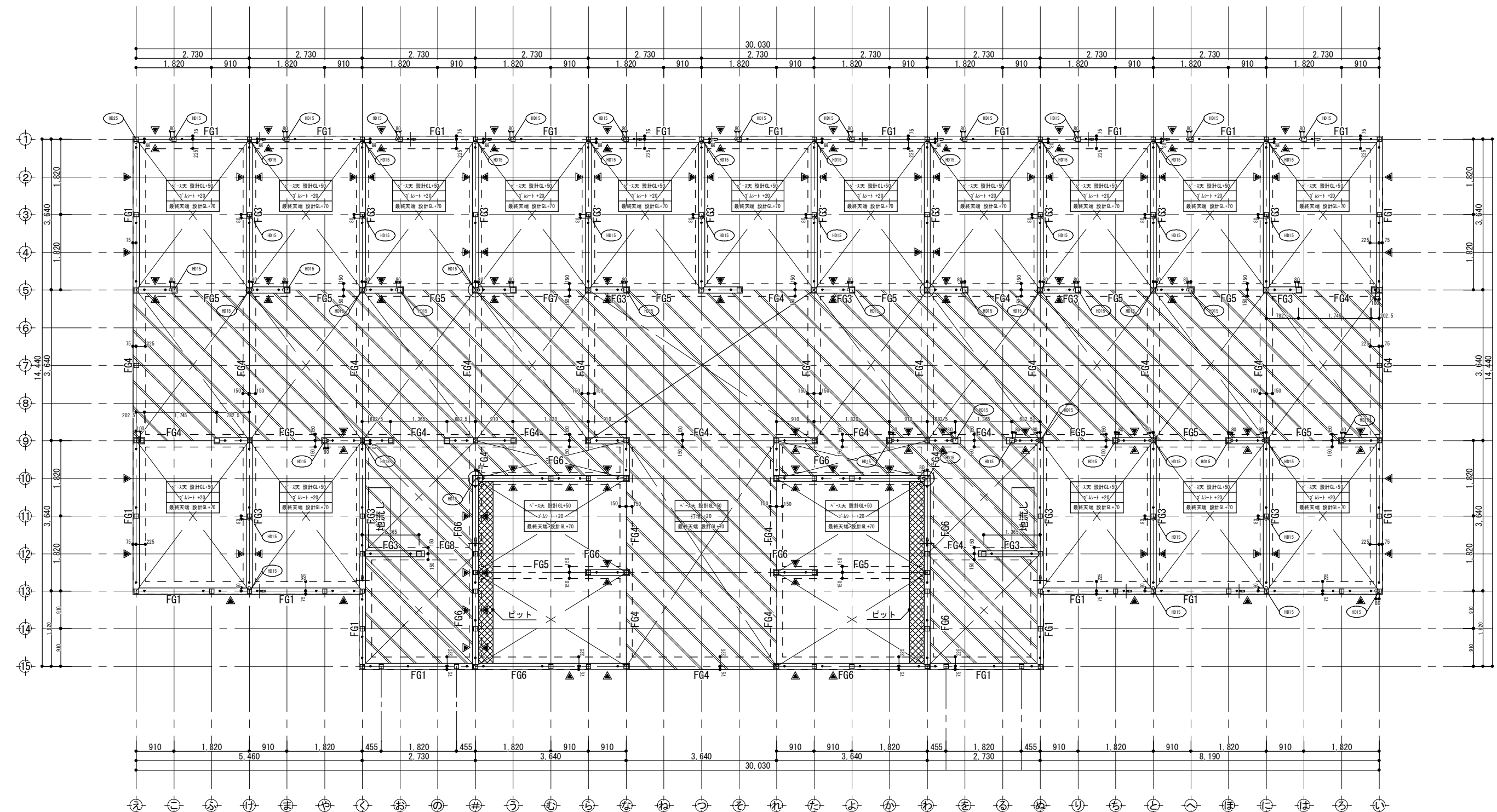
岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合				
工 事 名		厩 舎（岐 南 第 4 区 画）新 築 工 事		
種 別		岐南4区画 厩舎4-42	2 階母屋伏図	図面番号 W4-22/ W4-37
縮 尺		1/100	作成年月	令和7年12月
設計者		A i 設 計 室 有 限 会 社		
一級建築士氏名印		大臣登録244782号 杉山 雅章 印		





※特記なき柱は、105×105

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎4-42	軸組図2	図面番号 W4-24/ W4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



コンクリート打増

床下人通路 (W:600・H:350)

土台継手位置

アンカーbolt M12 出115

ホール'ン金物用アンカーbolt M16 出550
特記なき取付寸法はホール'ン用アンカーbolt取付平面詳細図による

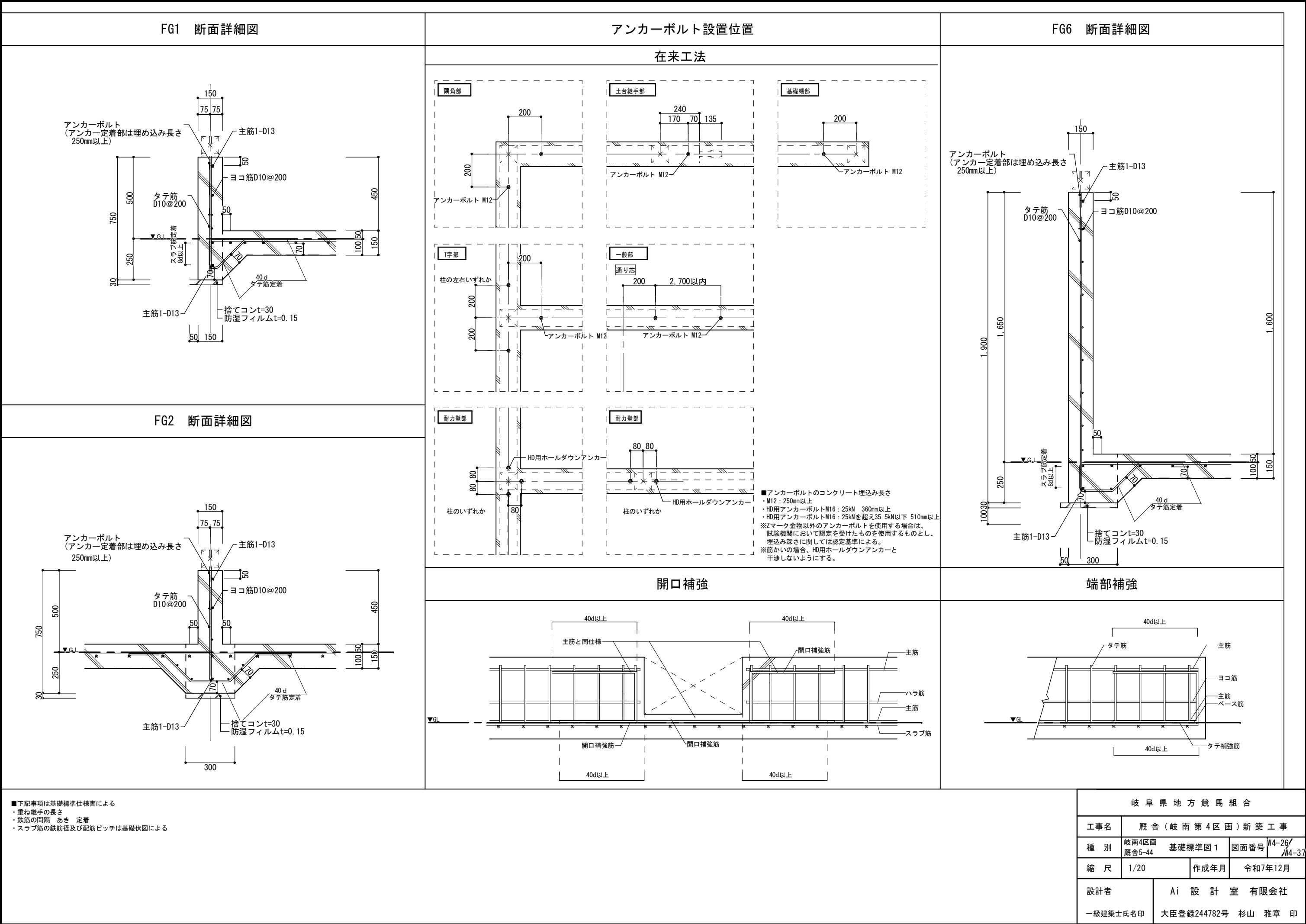
柱脚金物

ホール'ン用アンカーbolt取付平面詳細図 S=1:10

※特記なきスラブはFS1とし、
スラブ天端は設計GL+50とする。
※特記なき外周基礎はFG1とする。
※特記なき内周基礎はFG2とする。
※設計基準強度 $F_c=21$
強度補正は基礎標準仕様書による。

スラブ配筋	厚 (mm)	短辺方向		長辺方向	
		端部	中央	端部	中央
FS1	150	D13@200シングル		D13@200シングル	
FS2	150	D13@150シングル		D13@150シングル	
FS3	150	D13@100シングル		D13@100シングル	
特記					
設計地耐力 25 kN/m ²					
基礎の寸法 及び 配筋の検証方法	別添：ARCHITRENDZERO木造構造計算 『構造計算書』による。 具体的な寸法・配筋は基礎詳細図参照				

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎5-44	基礎伏図	図面番号 W4-25/ W4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計 室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



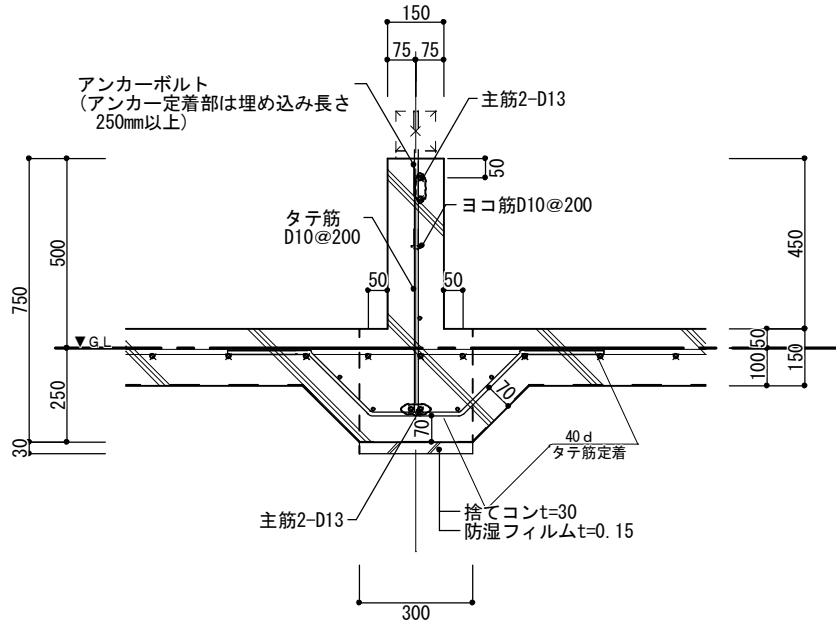
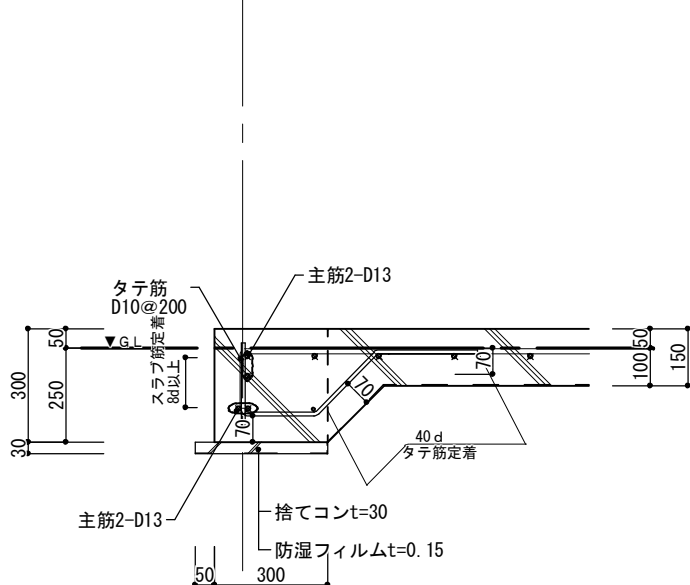
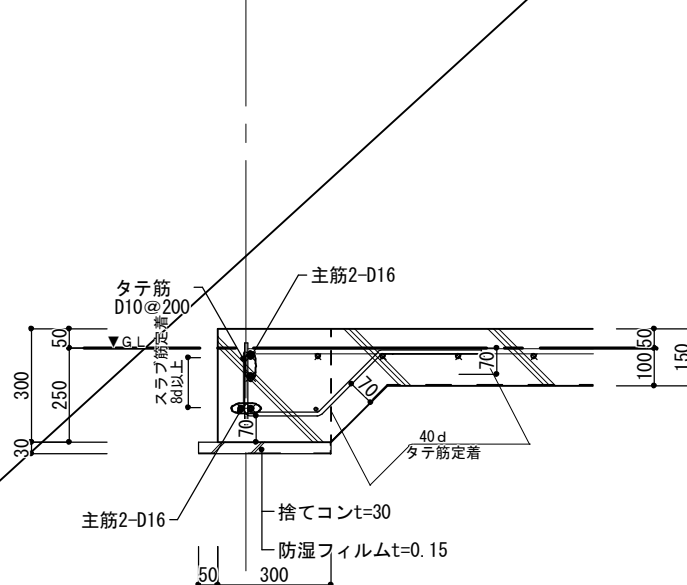
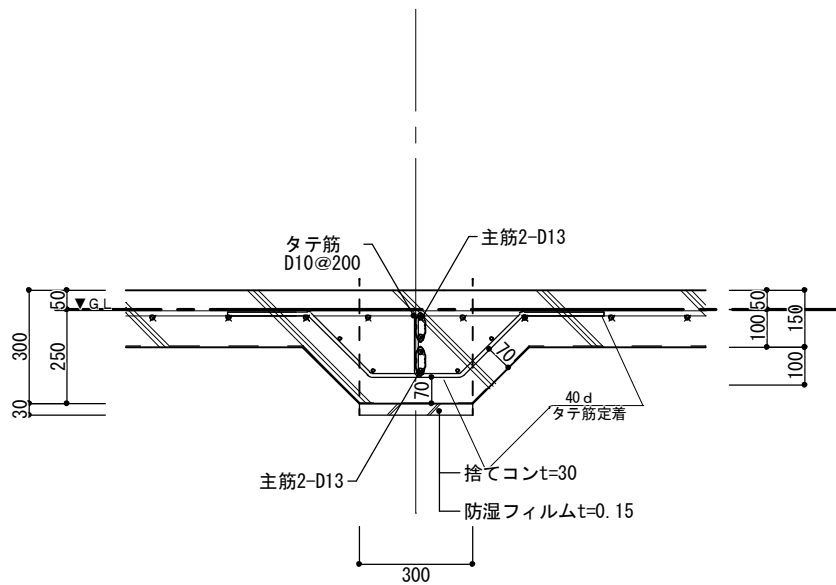
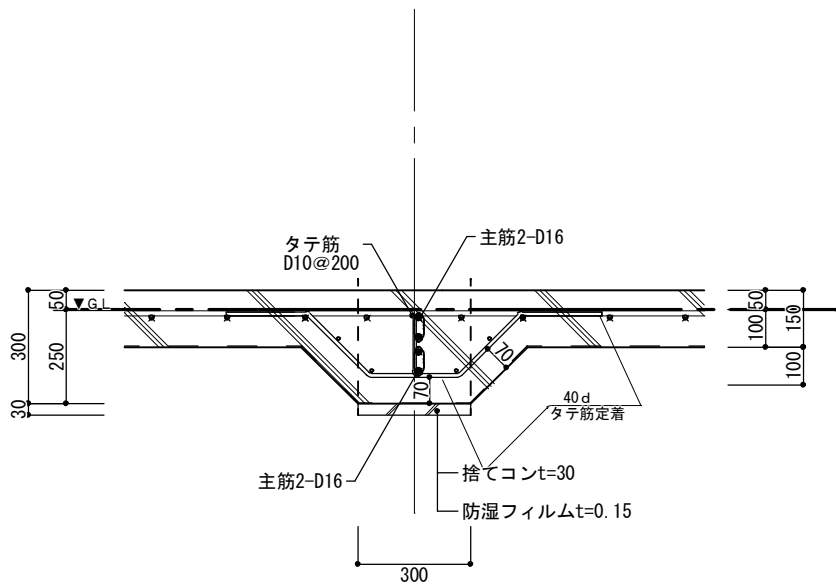
FG6 断面詳細図

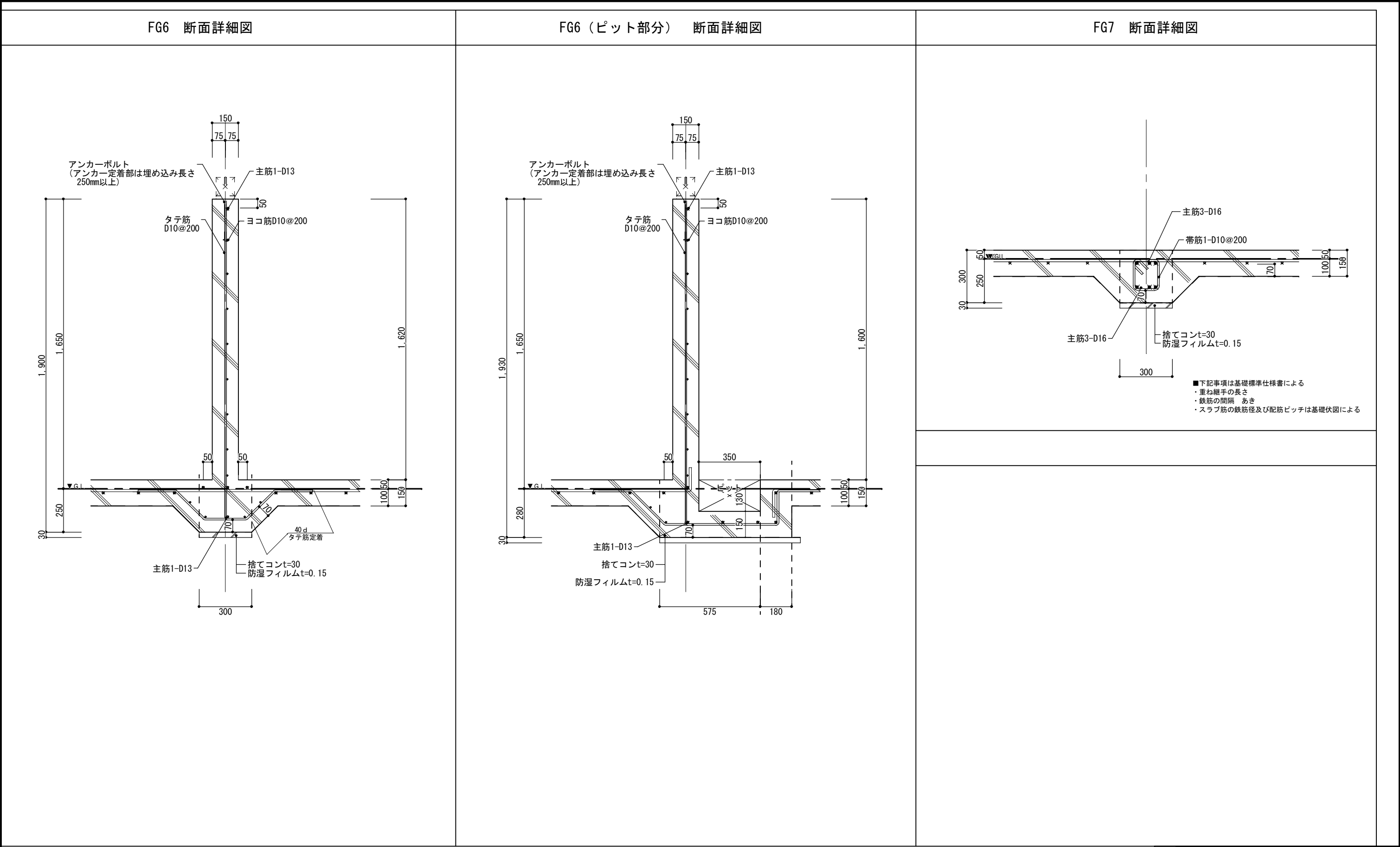
■下記事項は基礎標準仕様書による

- ・重ね継手の長さ
- ・鉄筋の間隔 あき 定着
- ・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による

岐阜県地方競馬組合

工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎5-44	基礎標準図 1	図面番号 W4-26/W4-37
縮尺	1/20	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

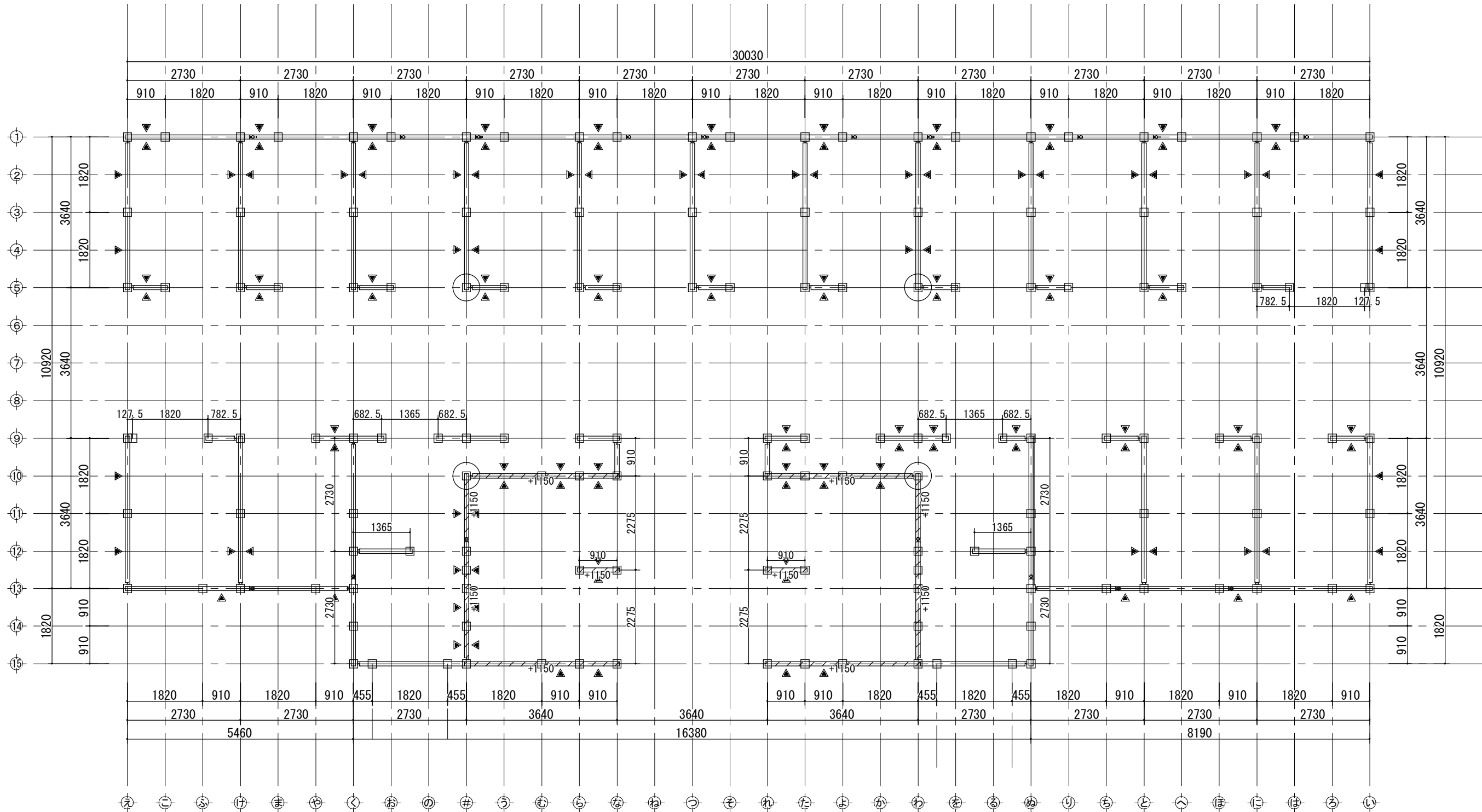
FG3 断面詳細図		FG4 断面詳細図		FG5 断面詳細図																									
																													
FG4（内部） 断面詳細図		FG5（内部） 断面詳細図																											
																													
<div>■下記事項は基礎標準仕様書による</div> <ul style="list-style-type: none">・重ね継手の長さ・鉄筋の間隔 あき 定着・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による				<table><tr><td colspan="4">岐阜県地方競馬組合</td></tr><tr><td>工事名</td><td colspan="3">厩舎（岐南第4区画）新築工事</td></tr><tr><td>種 別</td><td>岐南4区画 厩舎5-44</td><td>基礎標準図 2</td><td>図面番号 W4-27/ W4-37</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>1/20</td><td>作成年月</td><td>令和7年12月</td></tr><tr><td>設計者</td><td colspan="3">Ai 設 計 室 有限会社</td></tr><tr><td>一級建築士氏名印</td><td colspan="3">大臣登録244782号 杉山 雅章 印</td></tr></table>		岐阜県地方競馬組合				工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事			種 別	岐南4区画 厩舎5-44	基礎標準図 2	図面番号 W4-27/ W4-37	縮 尺	1/20	作成年月	令和7年12月	設計者	Ai 設 計 室 有限会社			一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		
岐阜県地方競馬組合																													
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事																												
種 別	岐南4区画 厩舎5-44	基礎標準図 2	図面番号 W4-27/ W4-37																										
縮 尺	1/20	作成年月	令和7年12月																										
設計者	Ai 設 計 室 有限会社																												
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印																												



■下記事項は基礎標準仕様書による

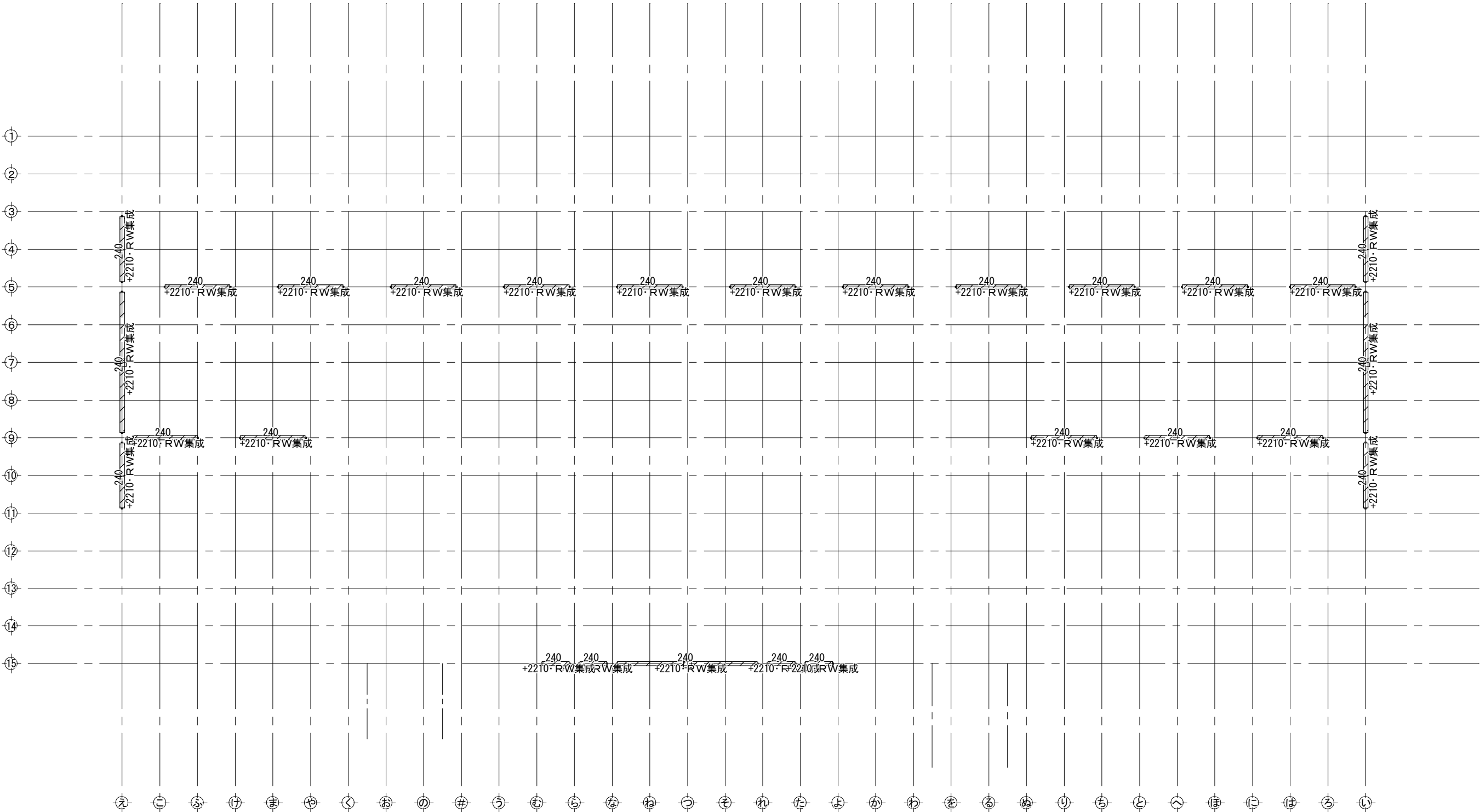
- ・重ね継手の長さ
- ・鉄筋の間隔 あき 定着
- ・スラブ筋の鉄筋径及び配筋ピッチは基礎伏図による









岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎5-44	基礎標準図3	図面番号 W4-28/ W4-37
縮尺	1/20	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計 室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



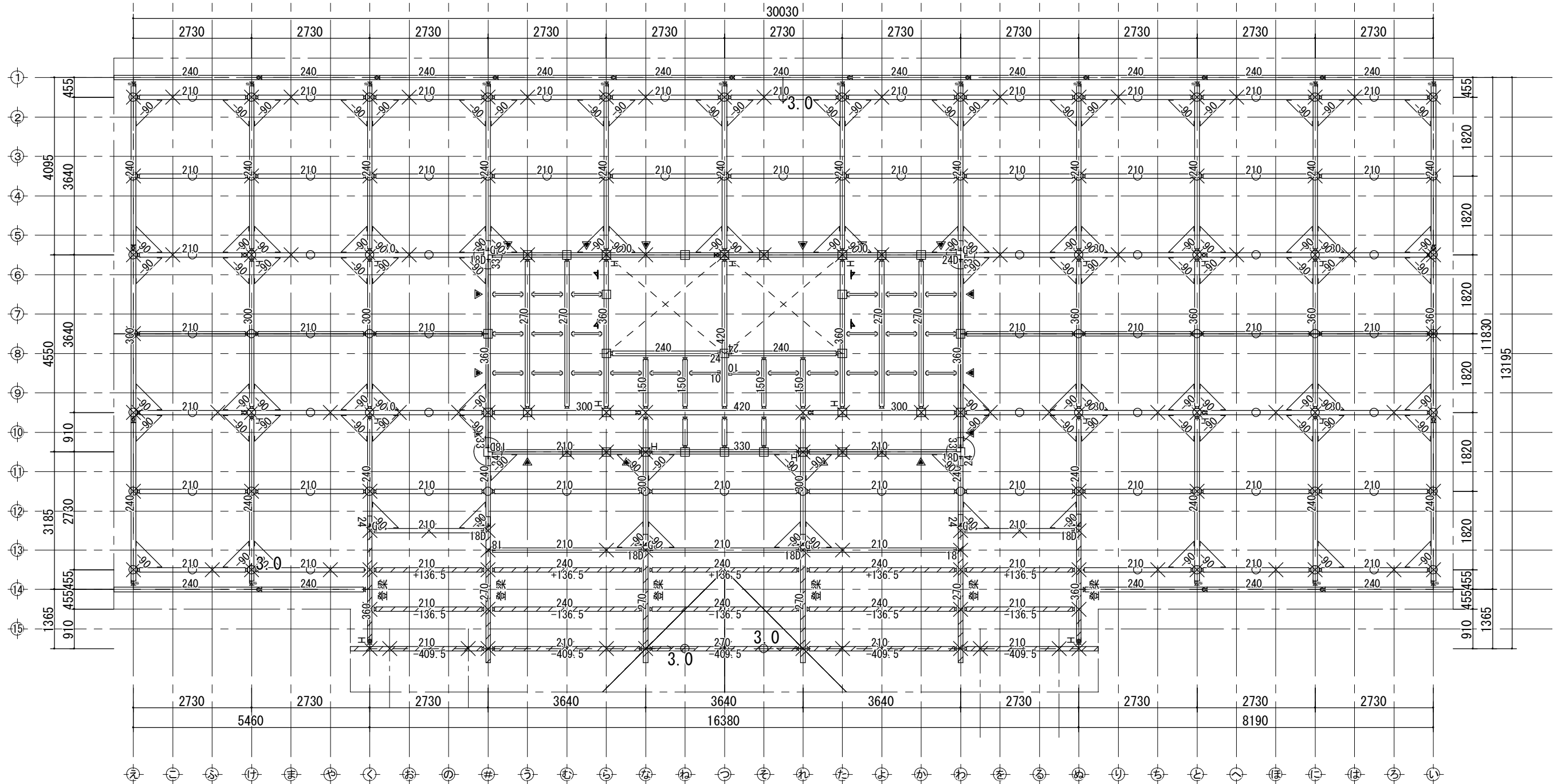
凡例			横架材			
記号	軸組の構造	倍率	土台 (K3防腐防蟻処理) 大引			
上 下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0	継手			
⊠	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0	備考			
▽	構造用合板、構造用パネ、構造用MDF、構造用PB t=9 外周大壁 (くぎN50 内外周@150以下) 内部受材真壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)	2.5	GLより1mの範囲は塗布にて防腐防蟻処理を行う。 特記なき土台は、天端を±0 (FL-**) とする。			
▼	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下)	3.7	標準部材リスト(1階)			
▼	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3	部材名	樹種	寸法	材料 等級
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜き算定時は足し合わせた倍率とする。			管柱1階	スプルース	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315
			土台	べいまつ	105×105	無等級材
			大引	ひのき	105×105	無等級材
			特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			














岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種 別	岐南4区画 厩舎5-44	1階床伏図	図面番号 W4-29/ W4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設 計 室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



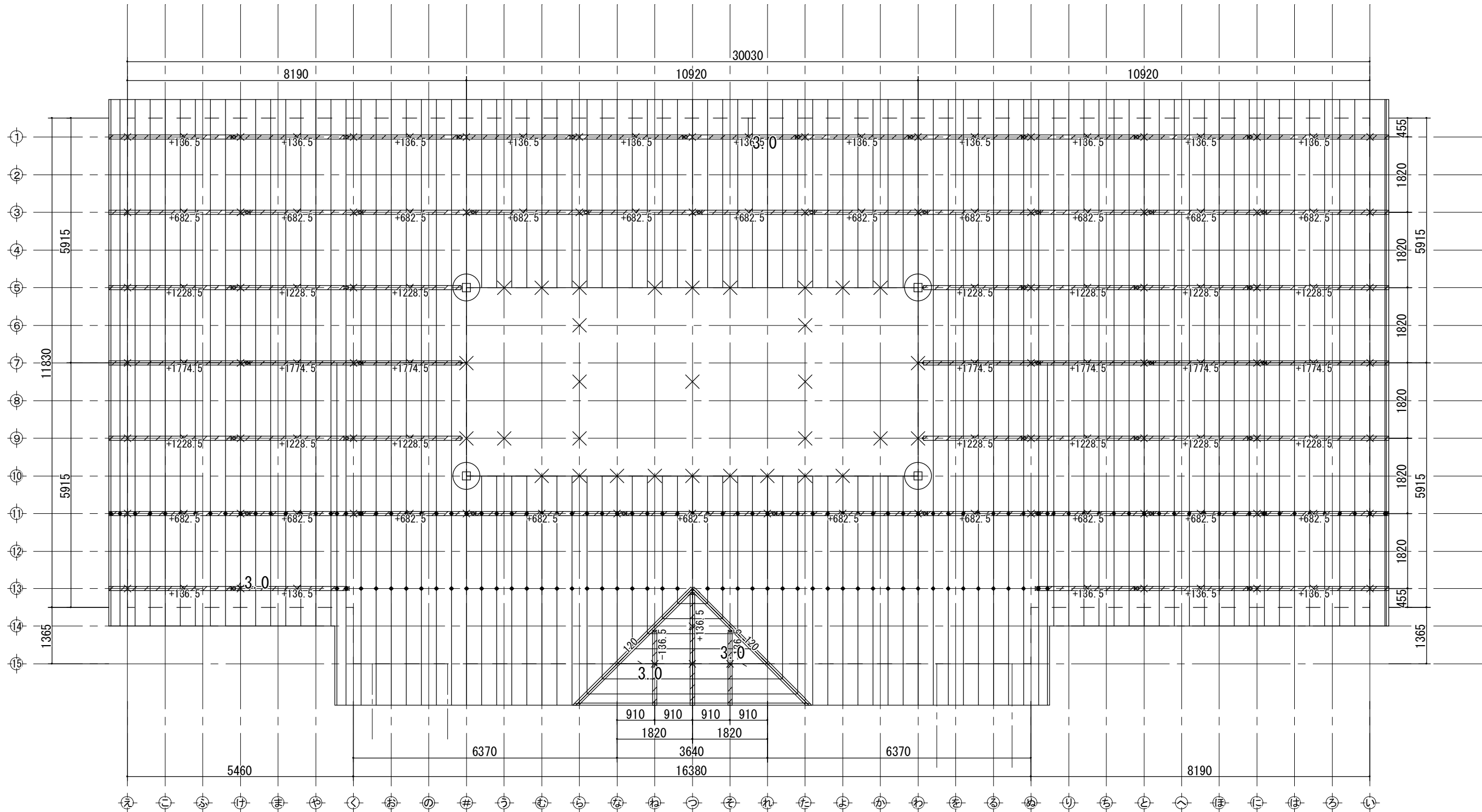
凡例			横架材			
記号	軸組の構造	倍率		土台 (K3防腐防蟻処理)		大引
上  下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0		継手		
	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0	備考			
	構造用合板、構造用パネ、構造用MDF、構造用PB t=9 外周大壁 (くぎN50 内外周@150以下) 内部受材真壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)	2.5	GLより1mの範囲は塗布にて防腐防蟻処理を行う。			
	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下)	3.7	特記なき土台は、天端を±0 (FL-**) とする。			
	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3	標準部材リスト(1階)			
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜き算定時は足し合わせた倍率とする。			部材名	樹種	寸法	材料 等級
			管柱1階	スプルース	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315
			土台	RW集成	105×-	対称異等級E100-F300
			大引	ひのき	105×105	無等級材
			特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合				
工事名		厩 舎（岐 南 第 4 区 画）新 築 工 事		
種 別	岐南4区画 厩舎5-44	1階床伏図（2）	図面番号	W4-30/ W4-37
	縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者		A i 設 計 室 有 限 会 社		
一級建築士氏名印		大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



凡例			横架材				水平構面			
記号	軸組の構造	倍率		梁		下階柱	凡例	種類	水平構面の仕様 受材等	△I _{0a} (kN/m)
上  下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0		合板受材		登梁		床構面	構造用合板t=24~30 N75@150以下川の字打ち	3.53
	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0		木製火打		鋼製火打	標準部材リスト(2階)			
	構造用合板、構造用P _板 、構造用MDF、構造用PB t=9 外周大壁 (くぎN50 内外周@150以下)	2.5		継手			部材名	樹種	寸法	材料 等級
	内部受材真壁 (くぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)		横架材接合部凡例		Ta (kN)	管柱2階	スプルース	105×105	同一等級構成集成材 E95-F315	
	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下)	3.7	B	大入蟻掛+羽子板ボルト又は腰掛鎌継+短冊金物		10.1	梁2階	オウシュウカマツ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300
	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (くぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3	C	大入蟻掛+羽子板ボルト×2又は腰掛鎌継+短冊金物×2		15.9	特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級~同強度以上とする			
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜力算定時は足し合わせた倍率とする。			特記なき横架材接合部はA: 羽子板ボルト又は短冊金物 (Ta=7.5kN) とする。							

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎5-44	2階床伏図	図面番号 W4-31/ W4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



横架材・束			
○	小屋束	×	下階柱
□	棟木	□	母屋
□ □ □	合板受材	▱	登梁
× 15 3.0	継手	—	垂木
水平構面			
凡例	種類	水平構面の仕様 受材等	△10a (kN/m)
□	屋根構面	構造用合板t=9~15 N50@150以下 (30度以下) 垂木45×45以上@500以下 転ばし	1.37

屋根	
野地板	構造用合板t=12
垂木・軒桁接合部・ひねり金物	ST-12 (4-ZN40) 同等以上 垂木・母屋接合部・タルキックⅡ
屋根	ガルバリウム鋼板t=0.35 立平ぶき 吊子間隔225mm
屋根ふき材	は令39条2項、昭46建告109の構造による








標準部材リスト(屋根)			
部材名	樹種	寸法	材料 等級
母屋	すぎ	105×105	無等級材
棟木	すぎ	105×105	無等級材
隅木・谷木	すぎ	105×105	無等級材
登梁	カシワ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300
小屋束	すぎ	105×105	無等級材
垂木	べいまつ	45×75@364	無等級材
特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎(岐南第4区画)新築工事		
種別	岐南4区画 厩舎5-44	1階母屋伏図	図面番号 W4-32/ W4-37
縮尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者	Ai 設計室 有限会社		
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印		

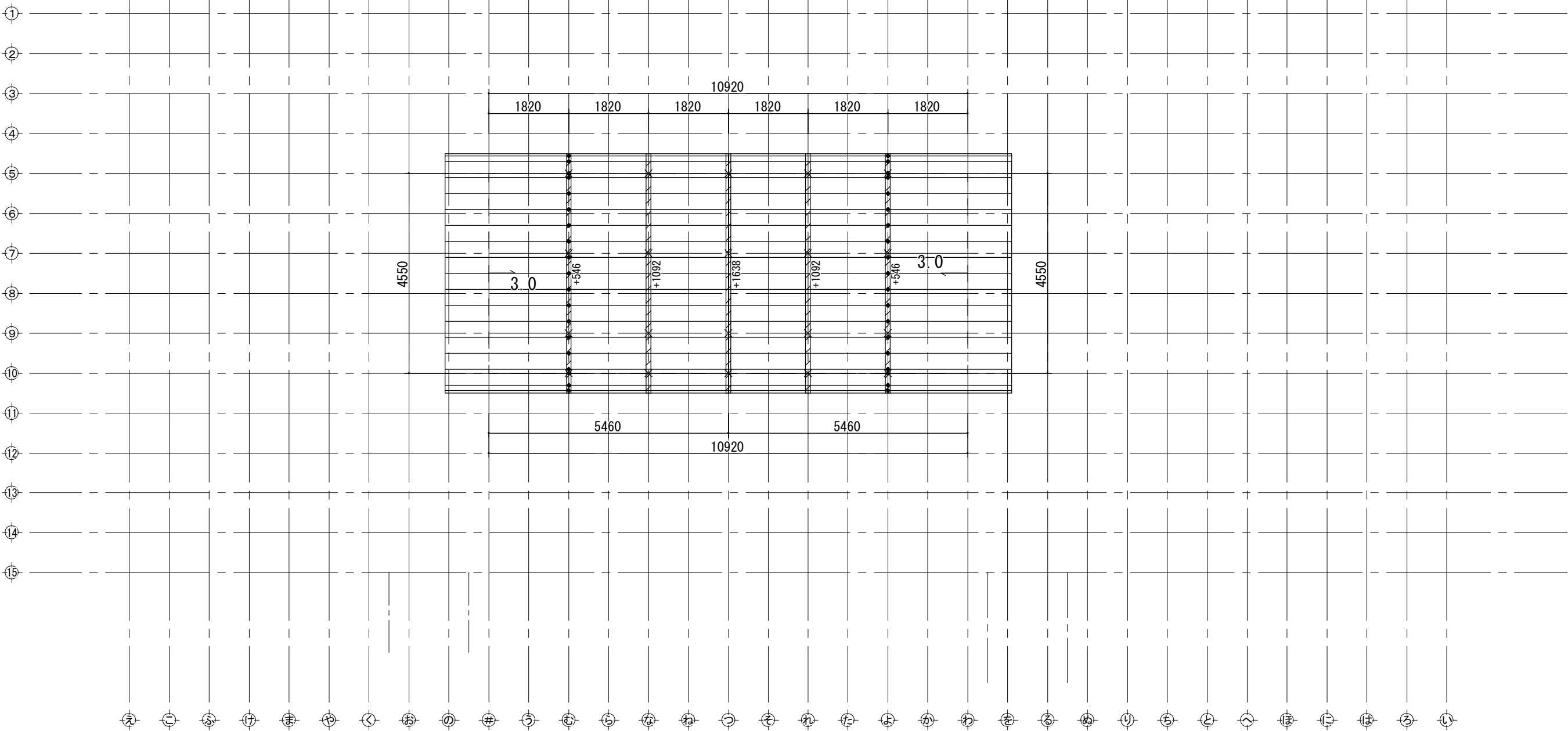
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮

え
こ
さ
け
ま
や
く
お
の

う
む
ら
な
わ
つ
そ
れ
た
よ
か
わ
を
る
ぬ
り
ち
と
へ
ほ
こ
ほ
ろ
い

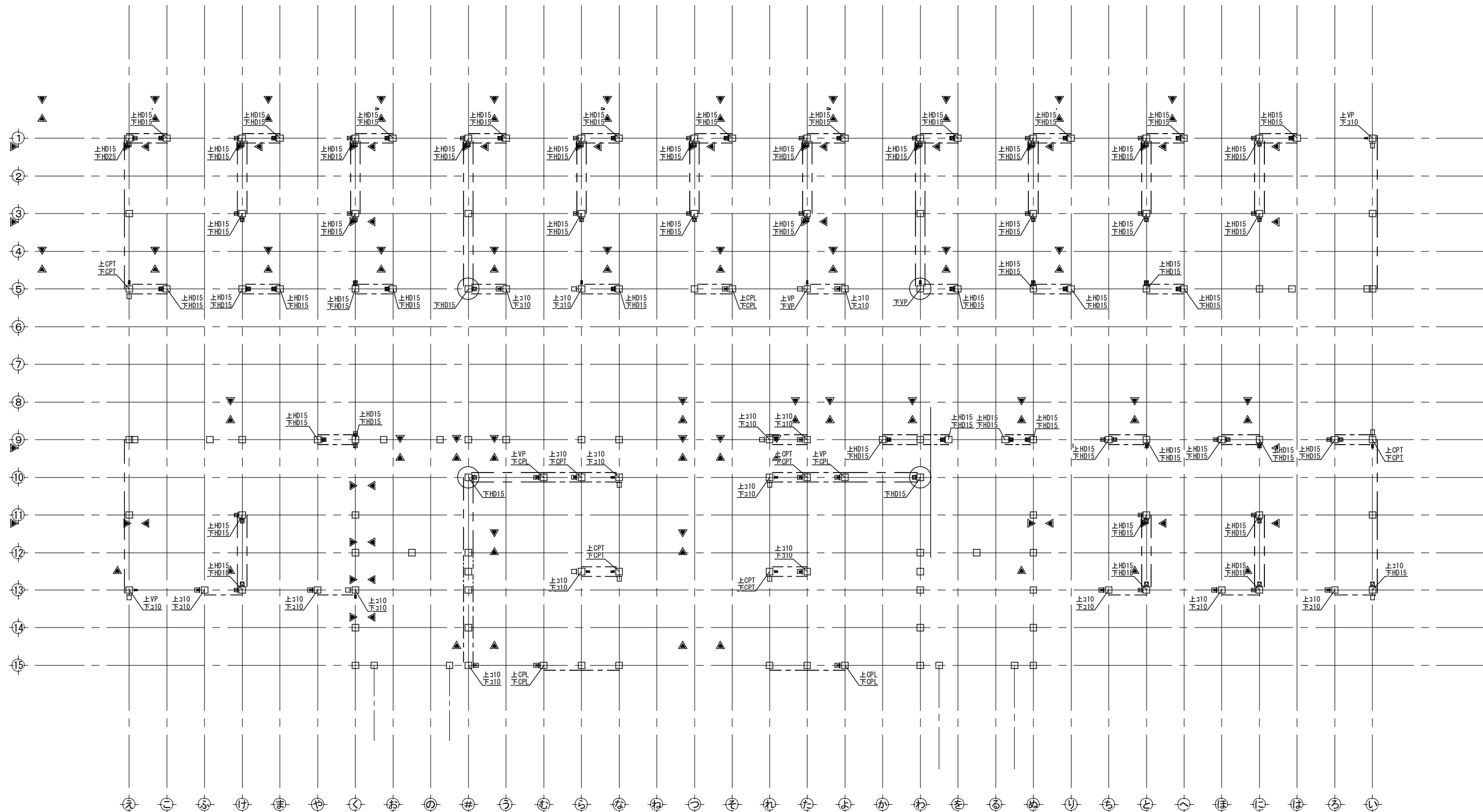
横架材				横架材接合部凡例			Ta (kN)
	梁		下階柱	B	大入蟻掛+羽子板ボルト又は腰掛鎌継+短冊金物		10.1
	合板受材		登梁	C	大入蟻掛+羽子板ボルト×2又は腰掛鎌継+短冊金物×2		15.9
	木製火打		鋼製火打	特記なき横架材接合部はA: 羽子板ボルト又は短冊金物 (Ta=7.5kN) とする。			
	継手	標準部材リスト(小屋階)					
		部材名	樹種	寸法	材料 等級		
		小屋梁	オウシュウカマツ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300		
		小屋束	すぎ	105×105	無等級材		
特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする							

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合				
工事名		厩 舎 (岐 南 第 4 区 画) 新 築 工 事		
種 別	岐南4区画 厩舎5-44		小屋伏図	図面番号
				W4-33/ W4-37
縮 尺	1/100		作成年月	令和7年12月
設計者		Ai 設 計 室 有 限 会 社		
一級建築士氏名印		大臣登録244782号 杉山 雅章 印		



横架材・束				水平構面				標準部材リスト(屋根)			
○	小屋束	×	下階柱	凡例	種類	水平構面の仕様 受材等	△0a (kN/m)	部材名	樹種	寸法	材料 等級
□	棟木	□	母屋	□	屋根構面	構造用合板t=9~15 N50@150以下 (30度以下) 垂木45×45以上@500以下 転ばし	1. 37	母屋	すぎ	105×105	無等級材
□ □ □	合板受材	▱	登梁	屋根				棟木	すぎ	105×105	無等級材
△ △ △ △	継手	—	垂木	野地板：構造用合板t=12				隅木・谷木	すぎ	105×105	無等級材
				垂木-軒桁接合部：ひねり金物ST-12 (4-ZN40) 同等以上 垂木-母屋接合部：タルキックⅡ				登梁	ワシユアツ	105×105	対称異等級構成集成材 E105-F300
				屋根：ガルバリウム鋼板t=0. 35 立平ぶき 吊子間隔225mm				小屋束	すぎ	105×105	無等級材
				屋根ふき材は令39条2項、昭46建告109の構造による				垂木	べいまつ	45×75@364	無等級材
								特記なき部材の樹種・寸法は標準部材リストによる。 樹種を変更する場合は同等級・同強度以上とする			

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合			
工事名	厩 舎 (岐 南 第 4 区 画) 新 築 工 事		
種 別	岐南4区画 厩舎5-44	2階母屋伏図	図面番号 W4-34/ W4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者		Ai 設 計 室 有限会社	
一級建築士氏名印		大臣登録244782号 杉山 雅章 印	

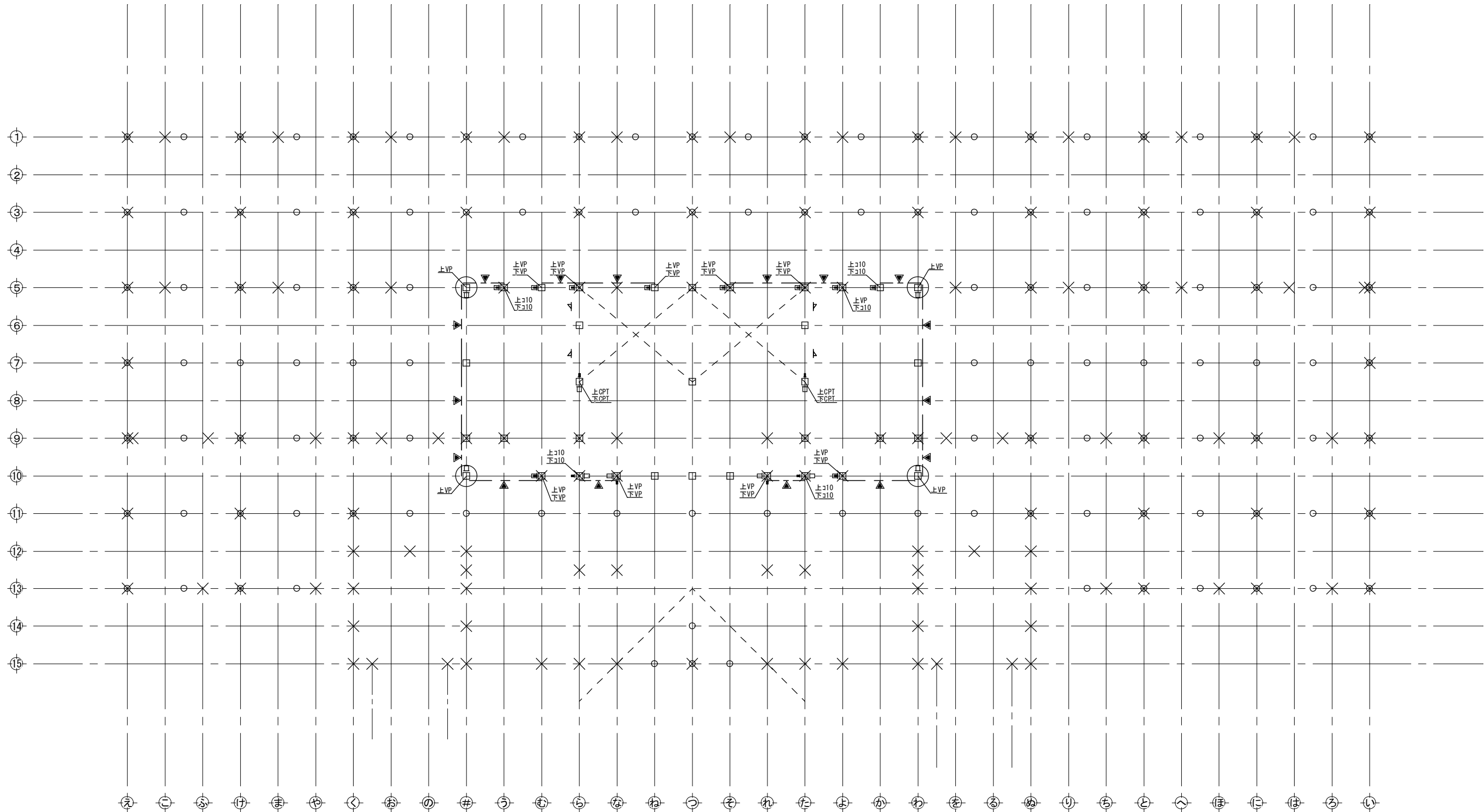


<凡例>
C P L ... 告示 (ろ) 同等品
特記なし ... 告示 (い) 同等品
C P T ... 告示 (は) 同等品
かつ5.07kN以上
V ... 告示 (は) 同等品
かつ5.88kN以上
310 ... 告示 (へ) 同等
かつ10.0kN以上
HD15...ホルダ'の金物15KN用
HD20...ホルダ'の金物20KN用
HD25...ホルダ'の金物25KN用

※同等品又はそれ以上も使用可。

凡例		
記号	軸組の構造	倍率
上 下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0
上 下	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0
▽	構造用合板、構造用バ'、構造用MDF、構造用PB t=9 外周大壁 (<ぎN50 内外周@150以下) 内部受材真壁 (<ぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)	2.5
▽	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (<ぎCN50'外@75以下、中@150以下)	3.7
▽	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (<ぎCN50'外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜き算定時は足し合わせた倍率とする。		

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合				
工事名	厩 舎 (岐 南 第 4 区 画) 新 築 工 事			
種 別	岐南4区画 厩舎5-44	1 階引抜金物 配置図	図面番号	W4-35/ W4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月	
設計者	Ai 設 計 室 有 限 会 社			
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印			

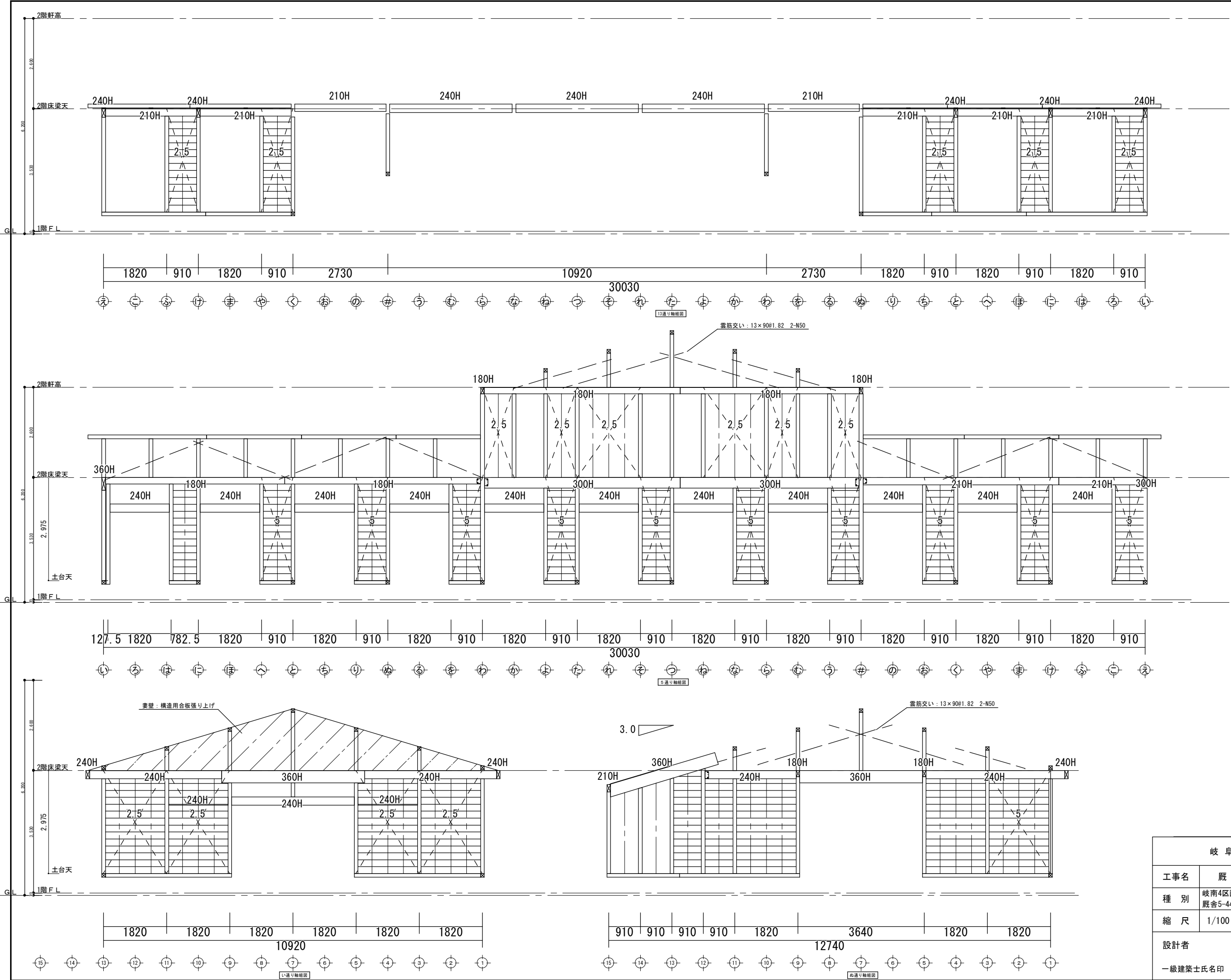


<凡例>
C P L ... 告示 (ろ) 同等品
特記なし ... 告示 (い) 同等品
C P T ... 告示 (は) 同等品
V ... 告示 (は) 同等品
かつ5.07kN以上
かつ5.88kN以上
かつ10.0kN以上
HD15...ホルダ'の金物15kN用
HD20...ホルダ'の金物20kN用
HD25...ホルダ'の金物25kN用

※同等品又はそれ以上も使用可。

凡例		
記号	軸組の構造	倍率
上▽下	木材 厚さ45×幅90 以上	2.0
⊠	木材 厚さ45×幅90 以上 ダブル	4.0
▽	構造用合板、構造用ﾊﾞｯｸ、構造用MDF、構造用PB t=9 外周大壁 (<ぎN50 内外周@150以下) 内部受材真壁 (<ぎN50 内外周@150以下、受材30×40以上N75@300以下)	2.5
▼	構造用合板t=9 大壁告示高倍率 (<ぎCN50 外@75以下、中@150以下)	3.7
▽	構造用合板t=9 真壁告示高倍率 (<ぎCN50 外@75以下、中@150以下、受材30×40以上N75@200以下)	3.3
※鉛直構面検討時の耐力壁の足し合わせは、7倍を上限とする。 ※柱頭柱脚接合部引抜き算定時は足し合わせた倍率とする。		

岐 阜 県 地 方 競 馬 組 合				
工事名	厩 舎（岐 南 第 4 区 画）新 築 工 事			
種 別	岐南4区画 厩舎5-44	2 階引抜き物 配置図	図面番号	W4-36/ W4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月	
設計者	A i 設 計 室 有 限 会 社			
一級建築士氏名印	大臣登録244782号 杉山 雅章 印			



凡例

梁せい

梁

2.5

構造用合板 $t7.5$ 以上
外周大壁貼り
許容応力度倍率：2.5倍
釘：N50@150以下

5.0

構造用合板 $t7.5$ 以上
外周大壁貼り
内部 床勝受材真壁貼り
許容応力度倍率：5.0倍
釘：N50@150以下
受材 30×40N75@300以下

柱の有効細長比（ λ ）

2 F 最大 $\lambda=85.8$
1 F 最大 $\lambda=98.1$

柱小径 特記無きは 105角

岐阜県地方競馬組合			
工事名	厩舎（岐南第4区画）新築工事		
種 別	岐南4区画 厩舎5-44	軸組図	図面番号 W4-37/ W4-37
縮 尺	1/100	作成年月	令和7年12月
設計者		Ai 設 計 室 有限会社	
一級建築士氏名印		大臣登録244782号 杉山 雅章 印	